

TOTO

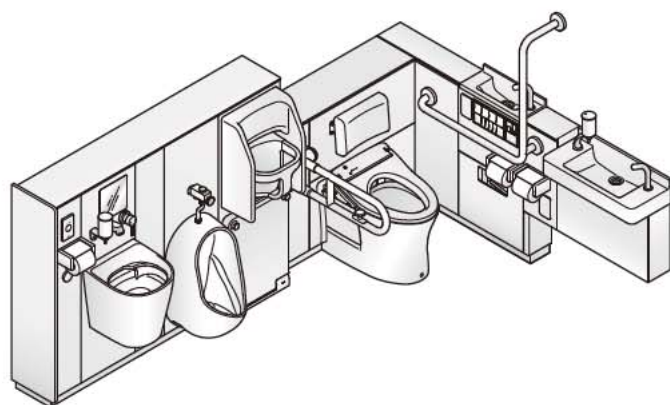
施工説明書

コンパクト・バリアフリースイレパック(床置大便器タイプ)

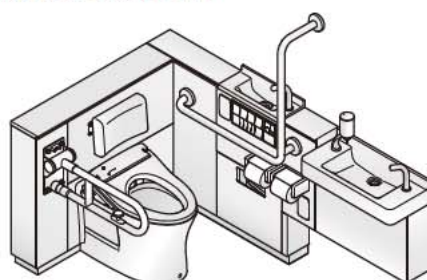
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。

【乳幼児連れ配慮セット】



【車いす使用者優先配慮セット】



※ イラストは右勝手の場合です。

情報編 3～32

- | | |
|------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 4 |
| 2. 取付前の確認 | 6 |
| 3. 部品の確認 | 15 |

手順編 33～111

・イラストはウォシュレット アプリコット(別売品)の設置状態です。

工事店様へ

- ☐ 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入し、必ずお客様にお渡しください。
また、使用方法も説明してください。
手渡しできない場合は、工事完了後目立つ場所に置いてください。

情報編

1. 安全上のご注意 ▶ 4

2. 取付前の確認 ▶ 6

1	全体構成	6
2	配管、電源・コンセントの準備	8
3	大便器排水位置	9
4	全体寸法	10
5	必要工具・部材	13
6	取付下地の確認、固定材の準備	14

3. 部品の確認 ▶ 15

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味



警告

死亡や重傷を負う可能性が
ある内容です。



注意

傷害や物的損害※が発生する
可能性がある内容です。



してはいけない禁止の内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。



警告



分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・
改造は行わない
火災や感電の原因となります。

この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない
破損してやけど・けがをしたり、水漏れして建物や設備など
をめらす財産損害発生の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。



水場使用
禁止

浴室など水がかかったり湿気の多い場所には
設置しない
火災や感電の原因となります。商品本体・ねじ類の腐食
により、落下してけがやときに死亡の原因となります。



禁止

指定する電源(交流100V)以外では使用しない
火災の原因となります。

雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因となります。

ガタついているコンセントは使わない
火災や感電の原因となります。

通電中は電源線、および電源端子台には絶対に
触れない
感電の原因となります。

電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し
込みがゆるいまま使用しない
火災や感電の原因となります。

洗浄ボタンや電源プラグ・配線部および端子台・
スイッチやコンセント部などの電気製品に水をかけたり、ぬれた手でさわらない
感電の原因となります。

電源コード・電源プラグが破損するようなことを
しない
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、
引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込
んだり、加熱したりしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい
場所に取り付けけない
取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死
亡の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたを
しない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因と
なります。

湯水を逆に配管しない
水を出そうとした際に湯が出てやけどの原因となります。

指定以外の商品と組み合わせて施工しない
商品の破損、落下による、けがの原因となります。



アース接続

アース(D種接地)工事がされていることを確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



必ず守る

工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する
商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因と
なります。水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生
の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体を
持って引き抜く
コードを引っ張ると電源プラグやコードが傷んで、火災や感
電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
火災や感電の原因となります。

電気関連部品の保守点検を行う場合は、必ず充電源
(分電盤ブレーカーもしくは、コンセントを抜く)を
切って作業を行う
感電の原因となります。

警告

 必ず守る	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	壁への設置は下地に合った固定を確実に行う 固定強度不足のため、けがをするおそれがあります。
	アンカーやプラグなどの下穴は指定径のドリルで所定の深さであけ、ダストポンプを使用して、必ず穴の中の切粉を除去する 固定強度不足のため、けがをするおそれがあります。	取付部には所定の下地を設ける 強度不足のため、けがをするおそれがあります。
	商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。 水漏れにより、感電、または、建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者（電気工事士）が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。
		<電気温水器なし仕様の場合> 必ず同梱のサーモスタットを取り付ける 熱湯をシングルレバーに直接接続しない 水栓から熱湯が出て、やけどの原因となります。

注意

 禁止	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない 水が噴き出し、建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	陶器取付用のねじをきつく締めすぎない 陶器が割れ、けがをするおそれがあります。
	商品に強い力や衝撃を与えない 故障したり水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	甲板や各器具の上に乗ったりしない 故障やけがの原因となります。
	排水パッキンの取り付けにはグリスを使用しない 劣化して水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	給水ホースが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
	パッキンを傷つけたり異常な変形をさせない 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	
 必ず守る	給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	凍結のおそれがある場合は、必ず凍結予防のため保温処理（保温材巻、電気ヒーターなど）を行う 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
	設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	フレーム、大便器、汚物流し（汚物流しありの場合）の持ち運びや取り付けは必ず2人以上で行う 腰を痛めたり、けがをするおそれがあります。
	工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	ジャバラを無理に曲げないように設置する 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
	給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。	カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。
	手すりにはガタツキやゆるみがないか確認する 手すりが外れ、けがをするおそれがあります。	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。
	作業時手袋、防じんマスクなど適切な防護具を使用する 予期せずけがをするおそれがあります。	各器具の補修を行う場合は、水漏れ防止のため必ず元バルブを締めて作業を行う 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

2.取付前の確認

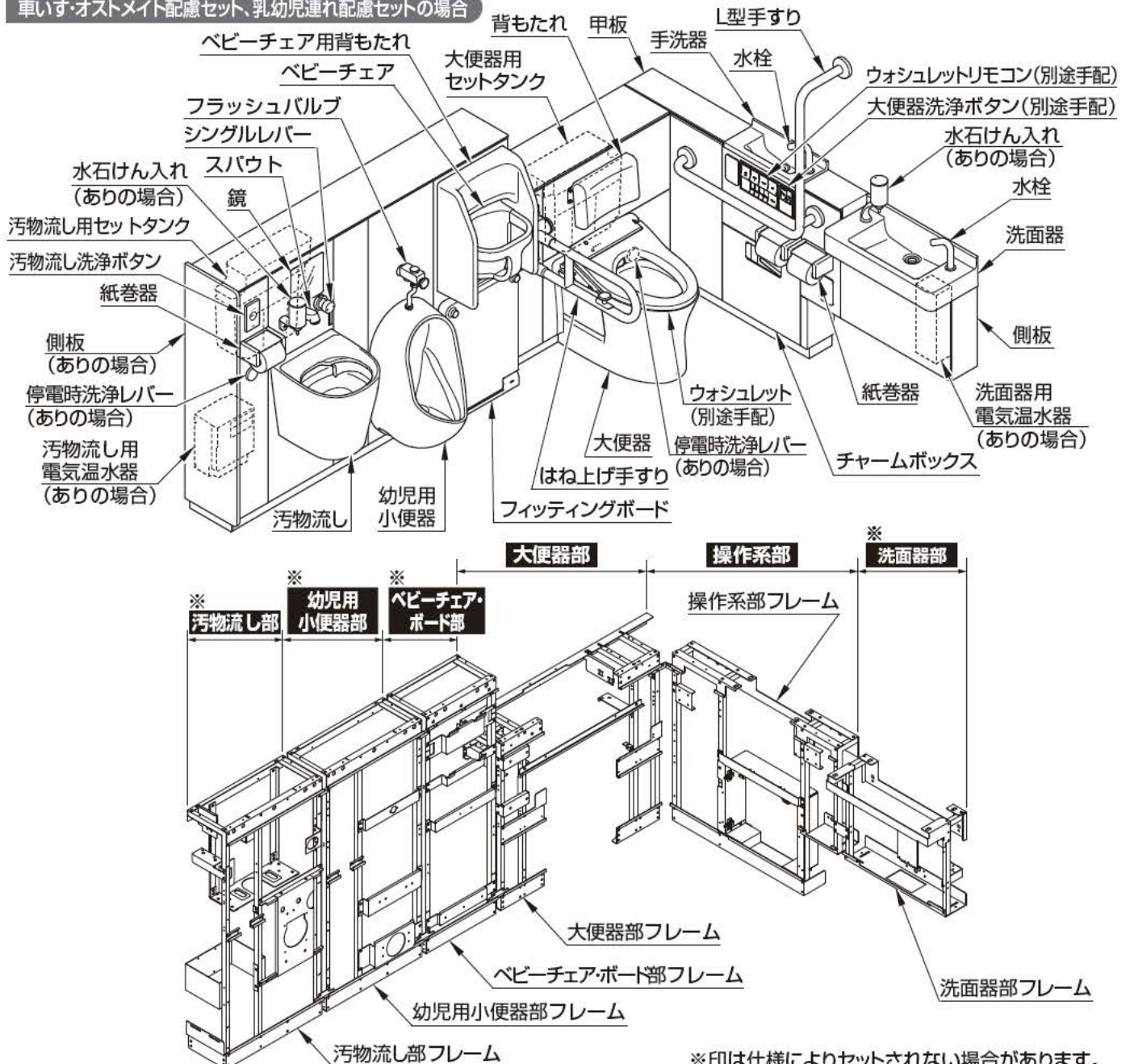
- ① 施工や運搬、清掃時に触れる可能性がある金属類は、陶器と接触しないようにする
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- ② 本商品および、本商品に取り付ける器具の商品図・事前施工情報を必ず確認し、取付位置や取付下地など施工条件を事前に確認する
※特に、床・壁の傾き、倒れがないことや、配管の立ち上げ位置を確認してください。
- ③ 不具合があった場合は責任者の方と調整し、不具合を解消後に取り付ける
- ④ 本商品に取り付ける各器具に同梱の施工説明書も参照すること
※本書は右勝手の場合を基準に説明しております。
- ⑤ 陶器表面に傷などないことを確認すること
※陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社商品「蛇口まわりクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- ⑥ 排水継手を組み立てる際は、塩ビ用接着剤を **全周に十分塗布** し、最後まできちんと **押し込む** こと
※水漏れのおそれがあります。

1 全体構成

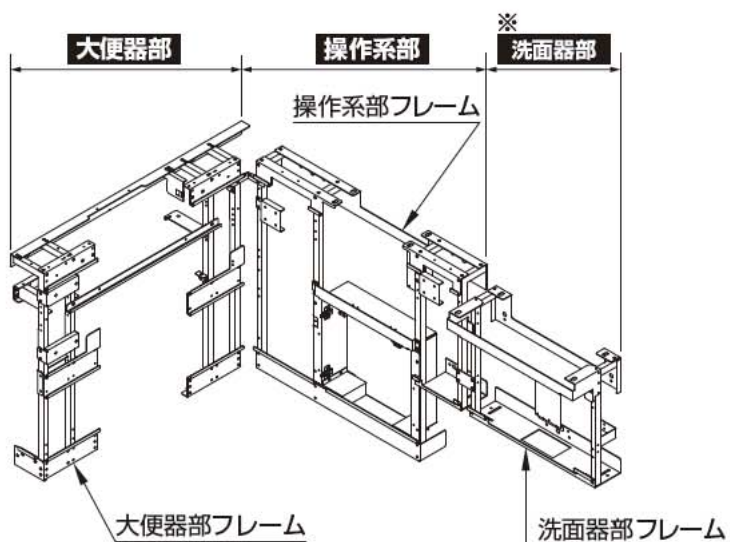
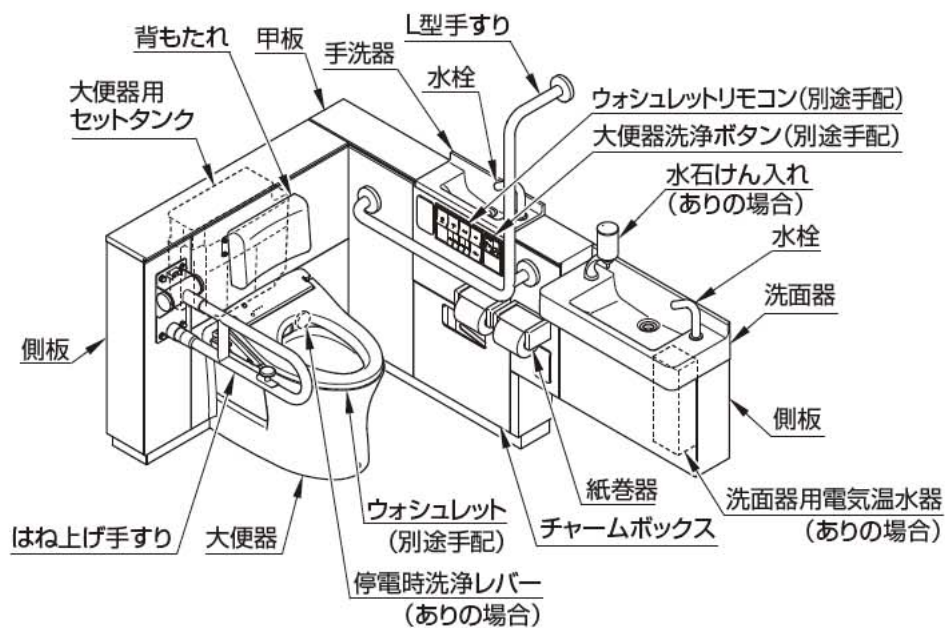
※図はウォシュレット アプリコット・エコリモコン付の場合です。

※ベビーチェア・ボード・幼児用小便器・汚物流し・洗面器・手洗器ありの場合です。

車いす・オストメイト配慮セット、乳幼児連れ配慮セットの場合



※印は仕様によりセットされない場合があります。



※印は仕様によりセットされない場合があります。

2 配管、電源・コンセントの準備

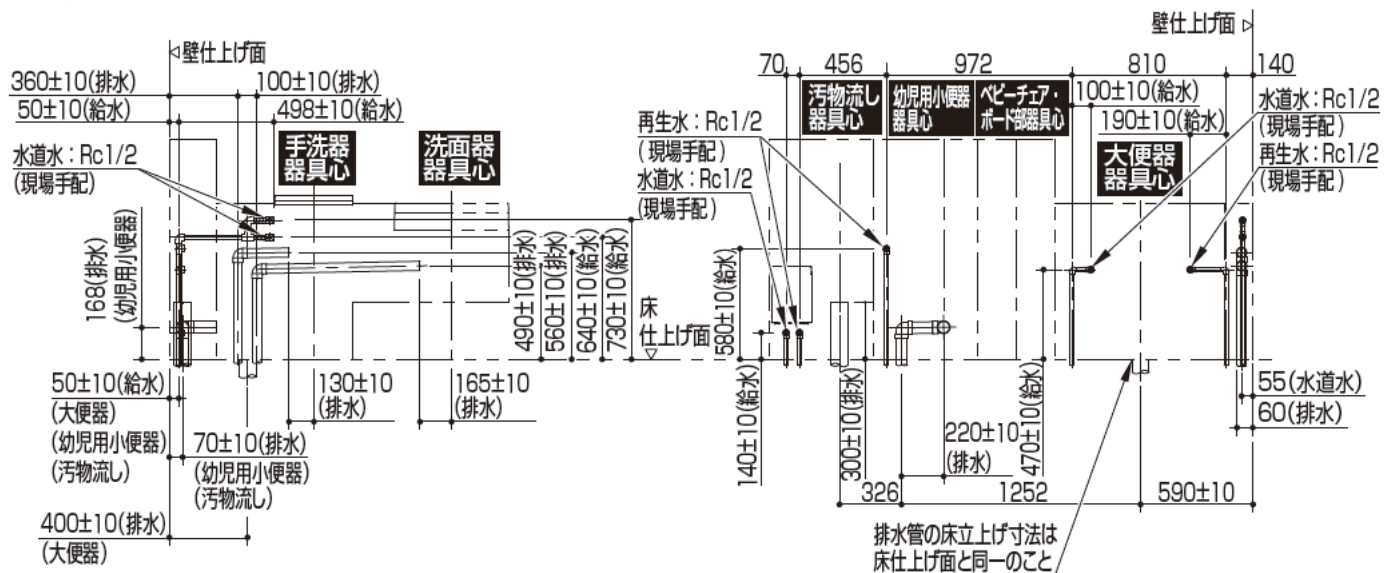
- ・正しい位置に設置されていることを商品図・事前施工情報を参照して確認する
- ・電気工事は関連する安全法規に従って有資格者が行う

給排水配管、電源・コンセントを所定の位置に取り出し、設置します。

車いす・オストメイト配慮セット、乳幼児連れ配慮セットの場合

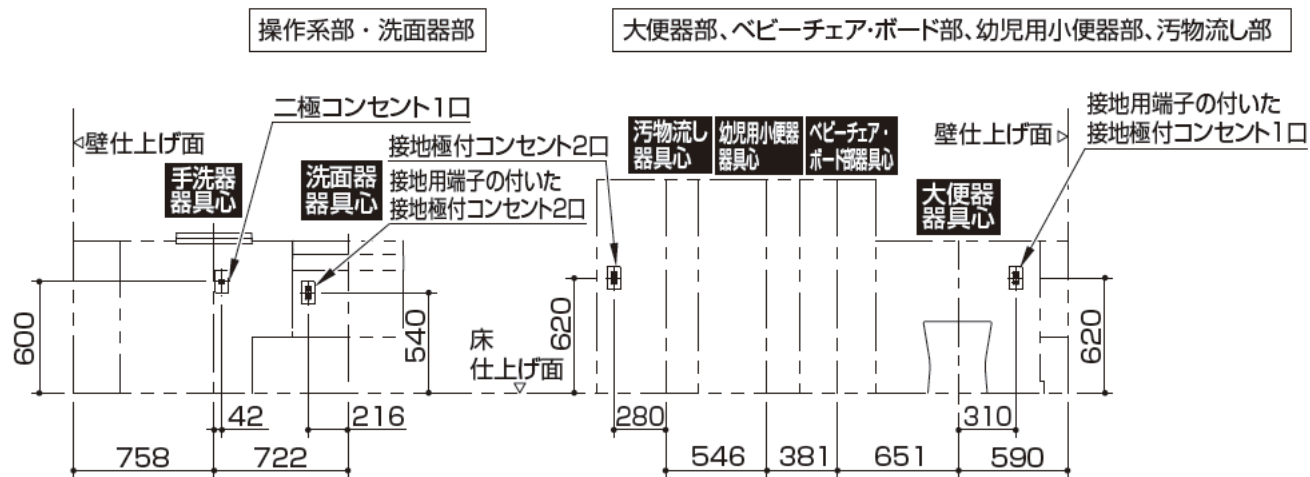
【右勝手、ベビーチェア・ボード・幼児用小便器・汚物流し(電気温水器あり)・洗面器・手洗器あり、再生水仕様の場合】

配管立ち上げ位置



【右勝手、ベビーチェア・ボード・幼児用小便器・汚物流し(電気温水器あり)・洗面器(電気温水器あり)・手洗器仕様の場合】

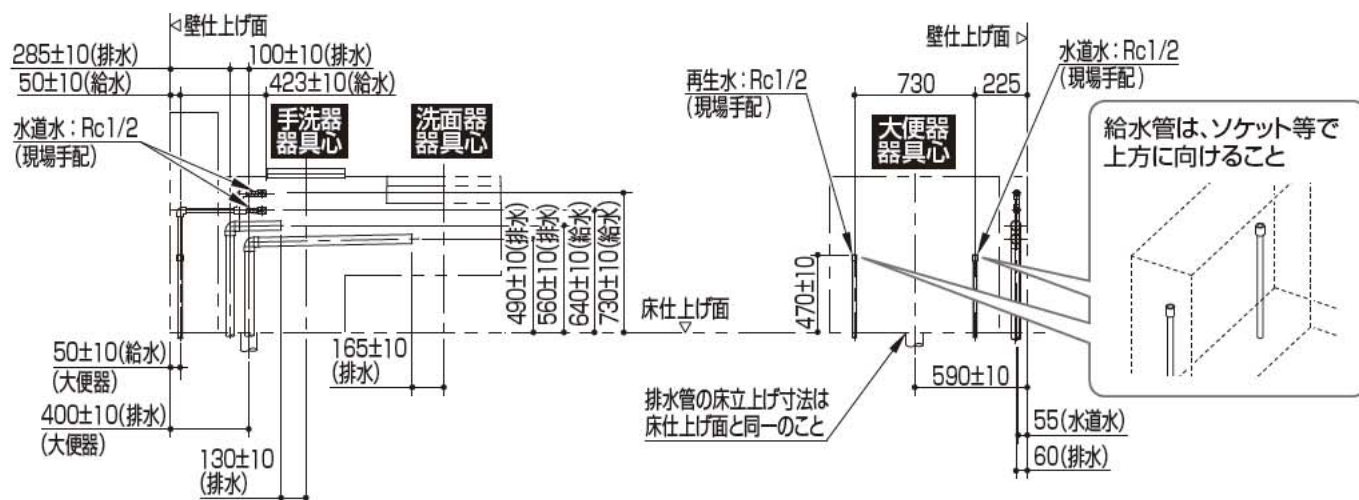
コンセント位置図



車いす使用者優先配慮セットの場合

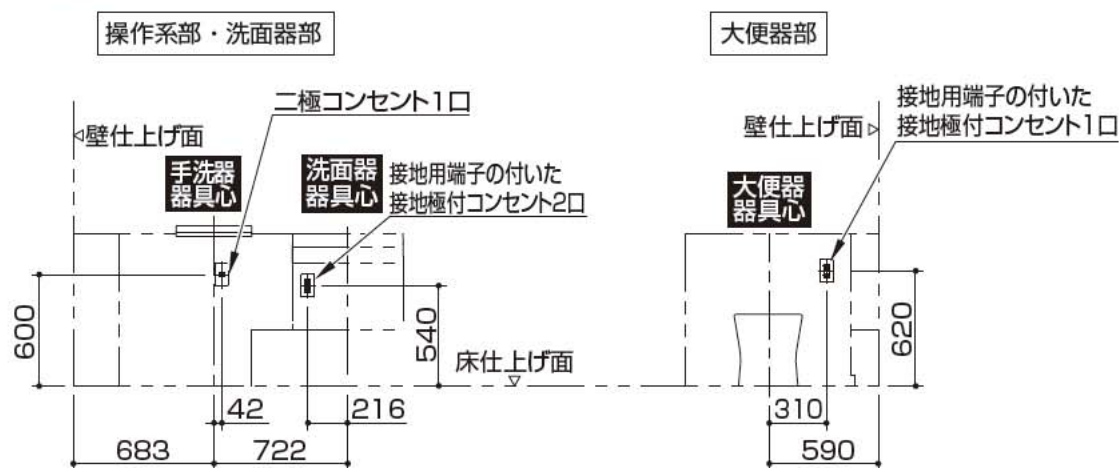
【右勝手、洗面器・手洗器あり、再生水仕様の場合】

配管立ち上げ位置



【右勝手、洗面器(電気温水器あり)・手洗器仕様の場合】

コンセント位置図



3 大便器排水位置

・ 下図の位置に大便器の排水心があることを確認してください。

右勝手の場合



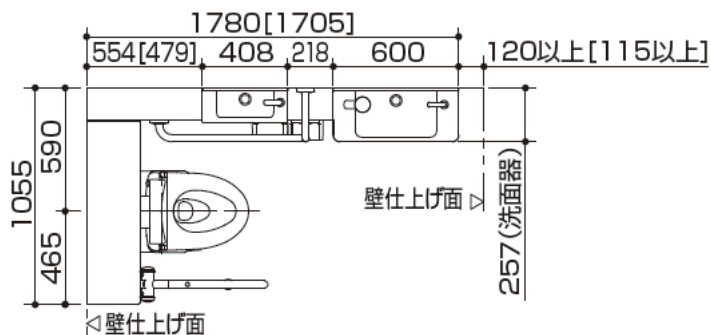
4 全体寸法

※パターンにより異なりますので詳細は商品図でご確認ください。

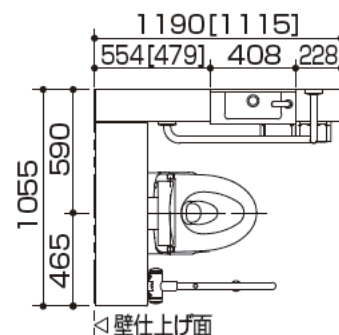
- ※図は右勝手の場合です。
 ※便座は仕様により形状が異なります。
 ※()内は側板なしの場合

【大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】

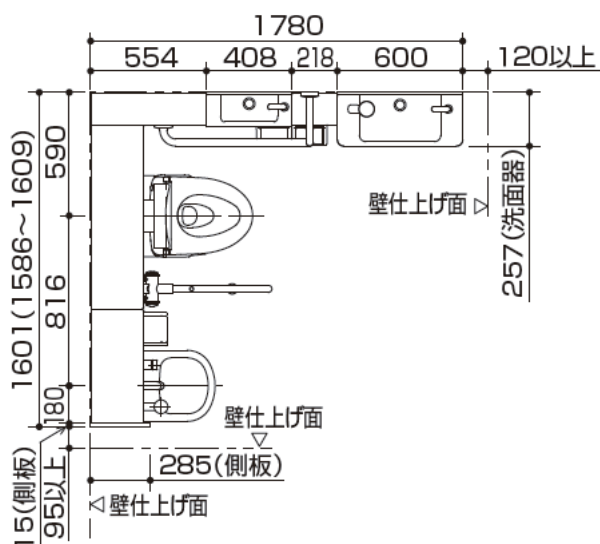
※[]内は車いす使用者優先配慮セットの場合



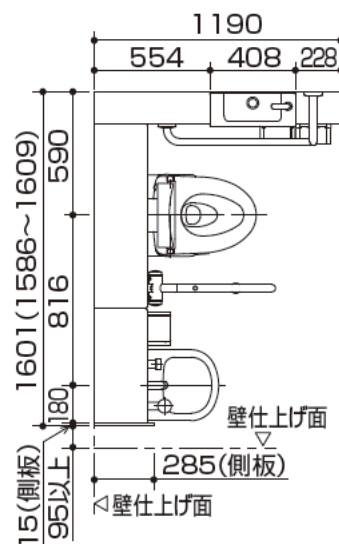
【洗面器部なしの場合】



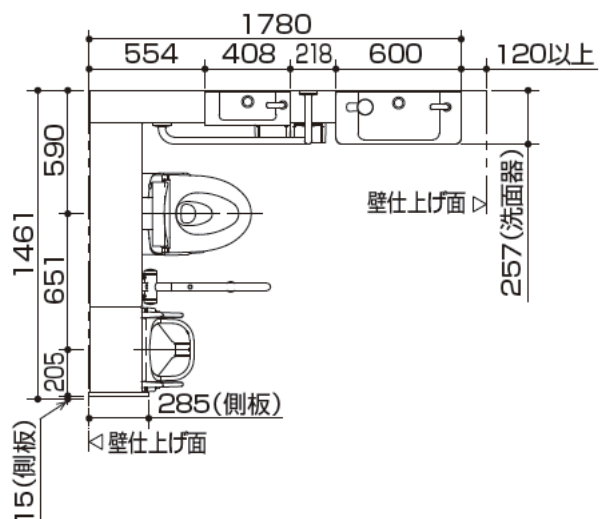
【汚物流し部、大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】



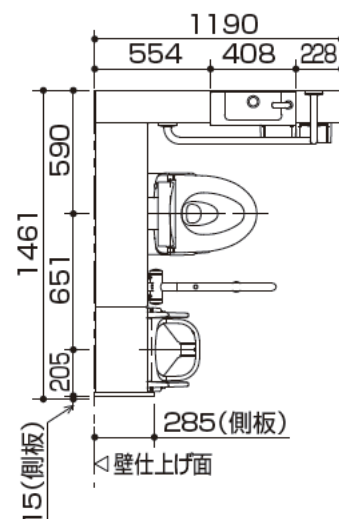
【洗面器部なしの場合】



【ベビーチェア・ボード部、大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】

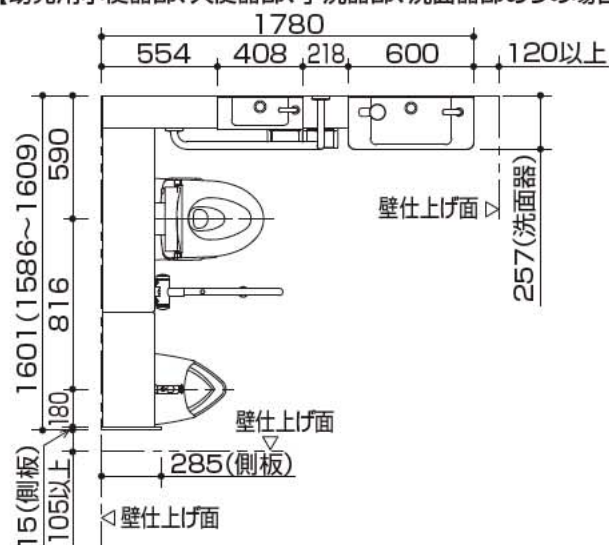


【洗面器部なしの場合】

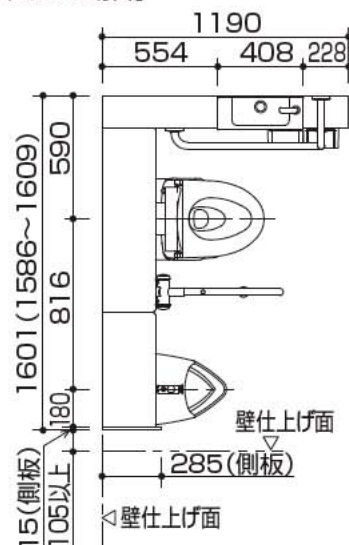


※()内は側板なしの場合

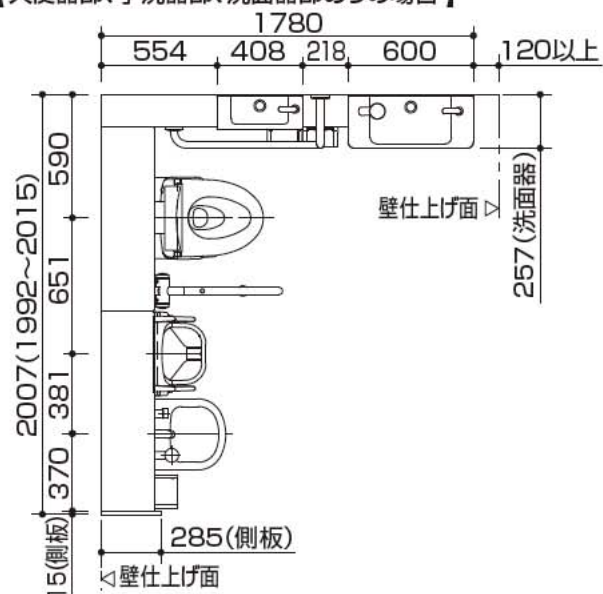
【幼児用小便器部、大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】



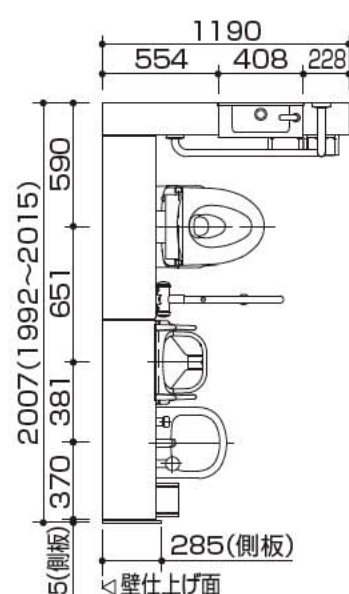
【洗面器部なしの場合】



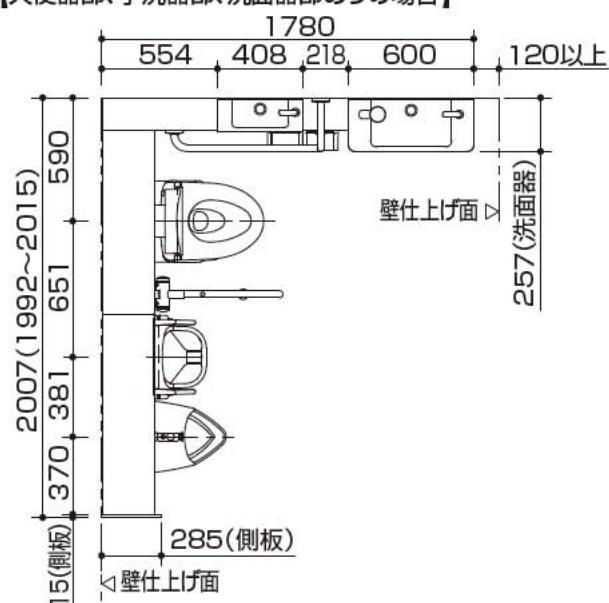
【ベビーチェア・ボード部、汚物流し部、大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】



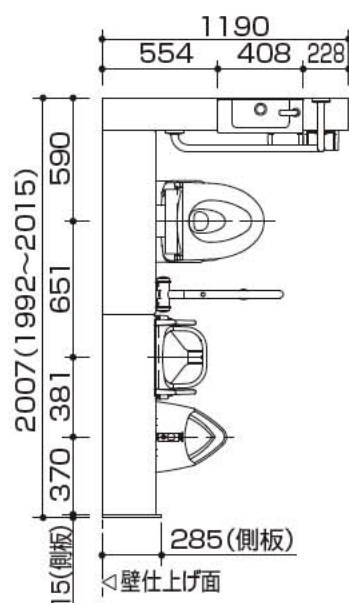
【洗面器部なしの場合】



【ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】

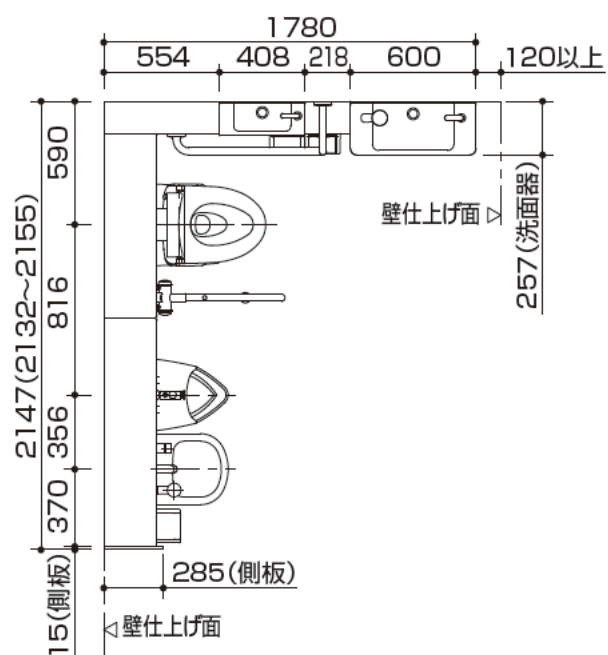


【洗面器部なしの場合】

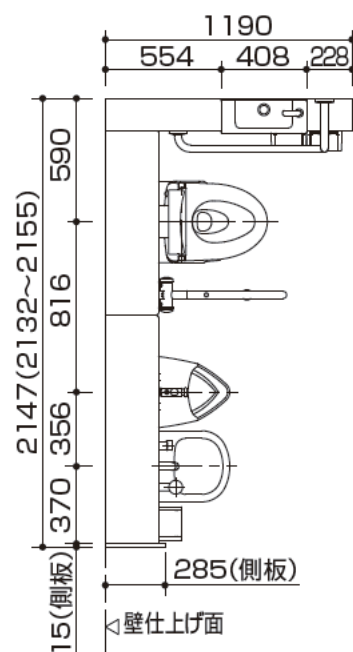


※()内は側板なしの場合

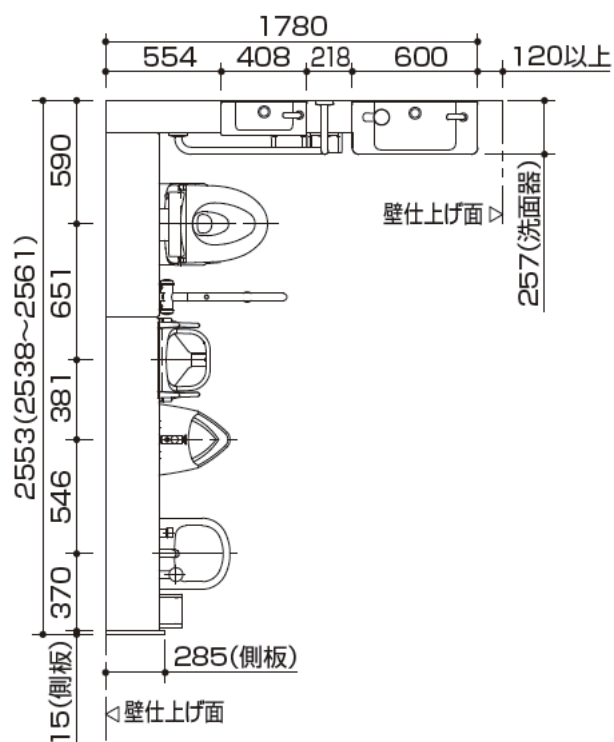
【幼児用小便器部、汚物流し部、
大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】



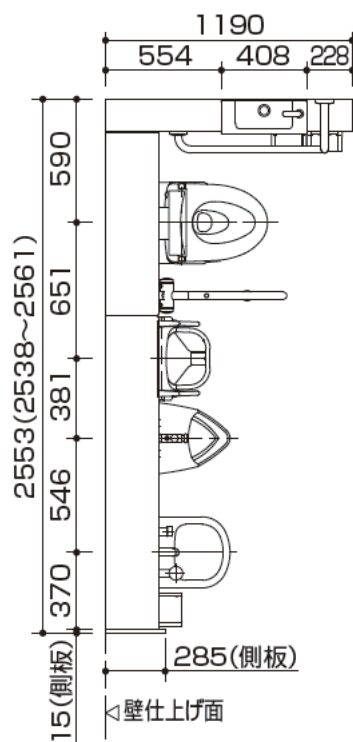
【洗面器部なしの場合】



【ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部、
大便器部、手洗器部、洗面器部ありの場合】



【洗面器部なしの場合】



5 必要工具・部材

※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具・部材を用意してください。



振動ドリル



電動ドリル



コンクリート用ドリル
φ6(L型手すりアンカーボルト、樹脂プラグ下穴用)
φ8(樹脂プラグ下穴用)
木工用ドリル
φ3(合板下地、紙巻器、水石けん入れ下穴用)



ダストポンプ



ソケットレンチ
メガネレンチ



板ラチェットレンチ
(サイズ:17mm、
長さ150mm以下)



六角棒レンチ
サイズ:対辺(mm)
2.5、3



電動ドライバー
ビットサイズ: #1、#2、#3



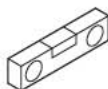
250mm以上の
ロングビット



金やすり



モンキーレンチ



水平器
(磁石付・150mm以下のものと
200mm以上のもの)



金切りばさみ
切断能力…ステンレス板0.8mm



シリコン系シーラント



プラスドライバー
#1(チャームボックス扉ステー取付用)
#2(65mm・200mm)



脱脂用アルコール



ウエス



えんぴつ



ジグソー
刃は新建材用または木工用超硬刃



レーザー墨出器



下げ振り



モーターレンチ



コンベックス



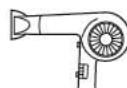
シールテープ



パイプカッター



ペンチ



ドライヤー

2

取付前の確認

6 取付下地の確認、固定材の準備

取付下地などに不具合があった場合は責任者の方と調整し、解消後に取り付けてください。

■床固定

床下地	部材名称	床固定材	
コンクリート (仕上げ材の厚み 10mm以内)	大便器部フレーム 汚物流し部フレーム 操作系部フレーム 大便器 ベビーチェア・ボード部フレーム 幼児用小便器部フレーム	樹脂プラグ (下穴φ8 深さ:仕上げ厚+55mm以上)	各部 フレームに 同梱
	排水継手	樹脂プラグ (下穴φ8 深さ:仕上げ厚+55mm以上)	大便器部 排水継手に 同梱
	大便器 排水継手	樹脂プラグ (下穴φ6 深さ:仕上げ厚+40mm以上)	大便器、 大便器部 排水継手に 同梱

■壁固定 本書記載の合板はJAS規格品となります。

壁下地	部材名称	壁固定材	
コンクリート (仕上げ材の厚み 10mm以内)	大便器部フレーム 汚物流し部フレーム 操作系部フレーム 洗面器部フレーム ベビーチェア・ボード部フレーム 幼児用小便器部フレーム	樹脂プラグ (下穴φ8 深さ:仕上げ厚+55mm以上)	各部 フレームに 同梱
	L型手すり	アンカーボルトM6×85 (下穴φ6 深さ:仕上げ厚+85mm以上)	手すりに 同梱
鋼製下地+耐水合板 (t12以上) ※大便器部フレーム・ L型手すりは耐水合板 (t24以上)	※大便器部フレーム 汚物流し部フレーム 操作系部フレーム 洗面器部フレーム ベビーチェア・ボード部フレーム 幼児用小便器部フレーム	トラスタッピンねじφ5×50	各部 フレームに 同梱
	※L型手すり	六角コーチねじφ6×70	手すりに 同梱



3.部品の確認

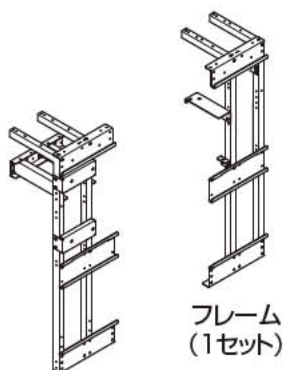
大便器部フレーム

大便器部フレーム STEP 5・18

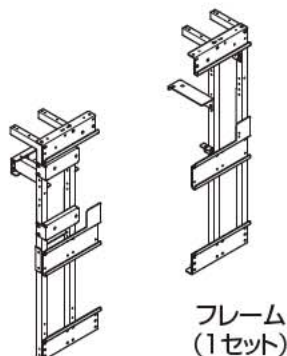
【共通】



【車いす・オストメイト配慮セット、 乳幼児連れ配慮セットの場合】



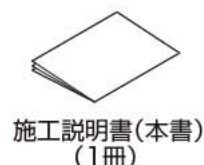
【車いす使用者優先配慮セットの場合】



壁ハンガー STEP 1・5



説明書セット



大便器部フレーム部部品セット

フレーム壁床固定セット STEP 1・5

【共通】



【耐水合板下地壁固定用】



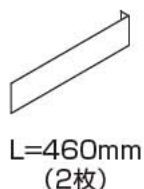
【コンクリート壁・床固定用】



【はね上げ手すり取付用】



L型幅木 STEP 9



両面テープ STEP 9・21

【幅木用・底目地用】



結束バンド(リビートタイプ) STEP 23



ライナーセット STEP 21



大便器部フレーム(つづき)

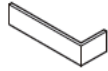
大便器部フレーム部部品セット (つづき)

側板固定セット STEP 5・6・9・10・24 ※大便器部のみの場合

【共通】



側板上部固定材
(1個)



L型幅木
L=246mm
(1枚)



タッピンねじ
φ4×12(4本)



バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

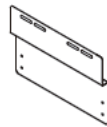


皿タッピンねじ
φ4×8(2本)



大形角呼び径6
(1個)

【車いす・オストメイト配慮セット、乳幼児連れ配慮セットの場合】



側板下部固定材
(1個)

【車いす使用者優先配慮セットの場合】

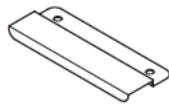


側板下部固定材
(1個)



下部引掛材
(2個)

底目地受材 STEP 21



底目地受材
(2個)



バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

連結材セット STEP 5



連結材
(1個)



バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

取付材セット(前板) STEP 23



ローレットねじ
M6×40
(1本)



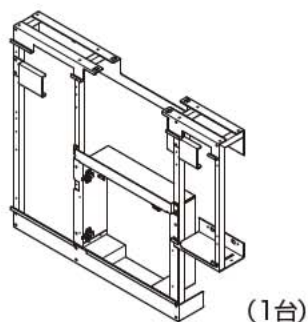
取付材
(前板)
(1個)



バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

操作系部フレーム

操作系部フレーム STEP 5



(1台)

操作系部フレーム部部品

フレーム壁床固定セット STEP 5

【共通】



トラスタッピンねじ
φ5×50(6本)



大形角
呼び径6
(6個)



アブセットタッピンねじ
φ8×30(6本)

【耐水合板下地壁固定用】

【コンクリート壁・床固定用】



ねじ受材
(6個)



樹脂プラグ
(6本)

ライナーセット STEP 21・22



t=0.5(5枚)

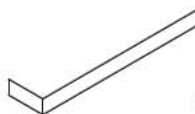


t=1.0
(10枚)

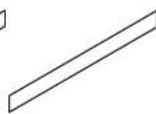


t=3.0
(20枚)

幅木 STEP 9

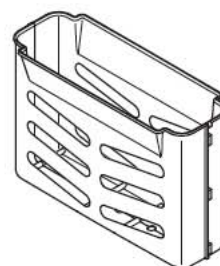


L型幅木
(1枚)



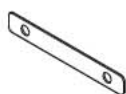
L=500mm
(1枚)

チャームボックス STEP 13



(1個)

止水栓固定材セット STEP 12

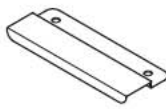


止水栓固定材
(1個)



なべ小ねじ
M4×50(2本)

底目地受材 STEP 21



底目地受材
(2個)

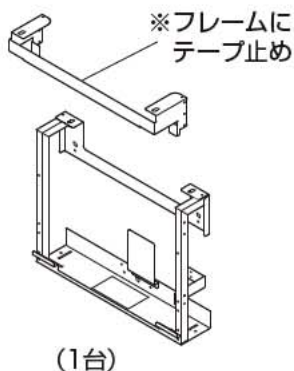
面ファスナー STEP 22



面ファスナー
透明と黒 各2個

洗面器部フレーム

洗面器部フレーム STEP 5



(1台)

側面パネル固定材

STEP 10



(1個)

※フレームにテープ止め

側板固定セット STEP 6



上部固定材
(1個)



下部固定材
(1個)



ローレットねじ
(1本)



バインド
タッピンねじ
φ4×12(3本)

3

部品の確認

洗面器部フレーム(つづき)

洗面器部フレーム部部品

フレーム壁床固定セット STEP 5

【共通】

トラスタッピンねじ
φ5×50(5本)大形角
呼び径6
(5個)アプセットタッピンねじ
φ8×30(4本)

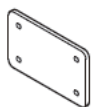
【耐水合板下地壁固定用】

ねじ受材
(4個)

【コンクリート壁・床固定用】

樹脂プラグ
(5本)

連結材セット STEP 5

連結材
(1個)バインドタッピンねじ
φ4×8 (4本)

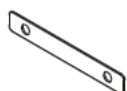
ライナーセット STEP 21

t=0.5
(5枚)t=1.0
(10枚)t=3.0
(20枚)

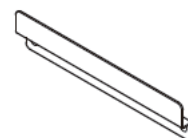
固定ねじセット STEP 5

ローレットねじ
(2本)バインド
タッピンねじ
φ4×8(8本)

止水栓固定材セット STEP 12

止水栓固定材
(1個)なべ小ねじ
M4×50(2本)

フレームハンガー STEP 5

フレームハンガー (1個)
※フレームにテープ止め

面ファスナー STEP 12

面ファスナー
透明と黒 各2個

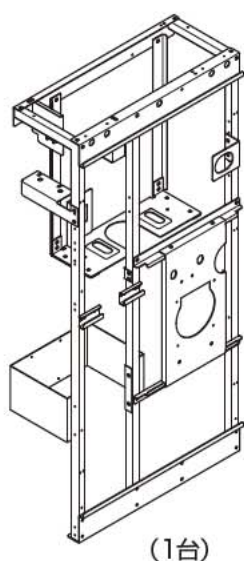
電気温水器固定材取付ねじ STEP 12

【電気温水器ありの場合】

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

汚物流し部フレーム

汚物流し部フレーム STEP 5



STEP 18

※汚物流し部フレームに
テープ止め

【停電対応ありの場合】



結束バンド(1本)

フィラー固定材 STEP 6



フィラー固定材
(2個)

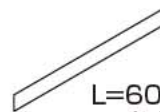


フィラー挟み込み材
(2個)



バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

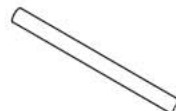
幅木 STEP 9



L=600mm
(1枚)

バキュームブレーカー接続セット

STEP 17



連結ホース
(1本)



ホースクランプ
(1個)

汚物流し部フレーム部部品

フレーム壁床固定セット STEP 5

【共通】



トラスタッピンねじ
φ5×50(4本)



大形角
呼び径6
(4個)



アップセットタッピンねじ
φ8×30(4本)

【耐水合板下地壁固定用】



ねじ受材
(4個)

【コンクリート壁・床固定用】



樹脂プラグ
(4本)

膨張水処理部材セット STEP 18



排水エルボ
(1個)

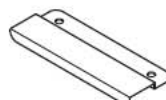


ホースセット
L=970mm
(1本)



ワッシャー
(1個)

底目地受材 STEP 21

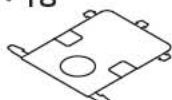


底目地受材
(2個)



バインド
タッピンねじ
φ4×8(4本)

カバー(B) STEP 17・18



(1個)

※電気温水器ありの場合のみ
タンク段付き部に取り付け

ソケット押え板 STEP 7



(1個)



バインド
タッピンねじ
φ4×8(4本)

便器洗浄ユニット用ねじセット STEP 18



バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)



バインドタッピンねじ
φ4×16(1本)

電気温水器ねじセット STEP 17



バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

※電気温水器ありの場合のみ

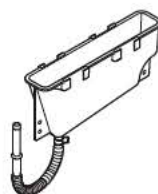
汚物流し部フレーム(つづき)

汚物流し部フレーム部部品 (つづき)

水受けトレイセット STEP 17



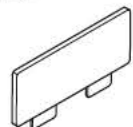
水受けトレイ支持材A・B
(各1個)



水受けトレイ
(1個)



ロッドホルダー
(1個)

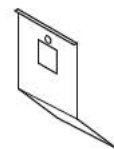


水受けトレイガイド
(1個)



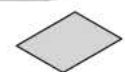
バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

水切板 STEP 17



水切板 (1個)

使いかたラベル STEP 24

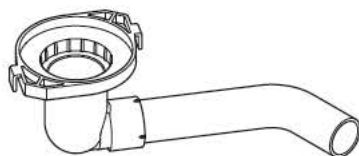


(1枚)

※全ての作業終了後に
張り付けを行います。
大切に保管してください。

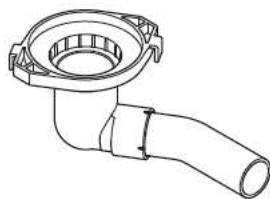
タンク接続管(汚物流し用) STEP 17

【点検口が左の場合】



(1個)

【点検口が右の場合】



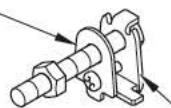
(1個)

陶器固定部材セット STEP 16



ブラケット
(1個)

金具B



陶器固定ボルト
(2本)

金具A

【組付けねじセット】



アブセットタッピンねじ
φ6×30(2本)



平ワッシャー
(4個)



全ねじ六角ボルト(大)
M8×60(2本)



六角ナット
(2個)

タンク固定板セット STEP 17



タンク固定板
(1個)

【調節ねじセット】



ローレットねじ
M6×16(4本)



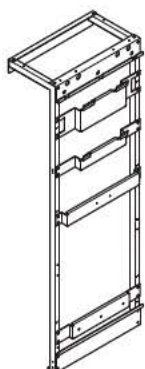
ローレットねじ
M6×30(4本)



角座金
(2個)

ベビーチェア・ボード部フレーム

ベビーチェア・ボード部フレーム STEP 5



(1台)

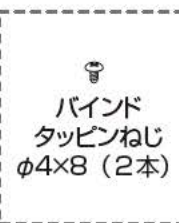
※ フィラー固定材 STEP 6



フィラー固定材
(2個)



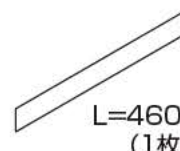
フィラー挟み込み材
(2個)



バインド
タッピンねじ
φ4×8 (2本)

※印は構成により入らない場合があります。

幅木 STEP 9



L=460mm
(1枚)

ベビーチェア・ボード部フレーム(つづき)

ベビーチェア・ボード部フレーム部部品

フレーム壁床固定セット STEP 5

【共通】

トラスタッピンねじ
φ5×50(3本)

大形角
呼び径6
(3個)

アプセットタッピンねじ
φ8×30(4本)

【耐水合板下地壁固定用】

ねじ受材
(4個)

【コンクリート壁・床固定用】

樹脂プラグ
(3本)

底目地受材 STEP 21

底目地受材
(2個)

バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

ベビーチェアねじセット STEP 14

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

フィッティングボードねじセット STEP 14

アプセットタッピンねじ
φ6×30(3本)

幼児用小便器部フレーム

幼児用小便器部フレーム STEP 5



※ フィラー固定材 STEP 6

フィラー固定材
(2個)

フィラー挟み込み材
(2個)

バインド
タッピンねじ
φ4×8(2本)

※印は構成により入らない場合があります。

幅木 STEP 9

L=600mm
(1枚)

幼児用小便器部フレーム部部品

フレーム壁床固定セット STEP 5

【共通】

トラスタッピンねじ
φ5×50(4本)

大形角
呼び径6
(4個)

アプセット
タッピンねじ
φ8×30(4本)

【耐水合板下地壁固定用】

ねじ受材
(4個)

【コンクリート壁・床固定用】

樹脂プラグ
(4本)

底目地受材

STEP 21

底目地受材
(2個)

バインド
タッピンねじ
φ4×8(4本)

幼児用小便器組付け STEP 8・15

壁フランジ (1個)
※取付部材、説明書など同梱
※同梱のトラスタッピンねじ
φ6×50(4本)は使用しません

アプセットタッピンねじ
φ6×30(8本)

幼児用小便器
フラッシュバルブ
(1個)

止水栓
(1個)

バックハンガー
(2個)

フレキ管
(1本)

3

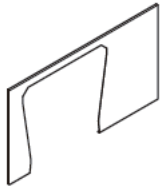
部品の確認

大便器部前板

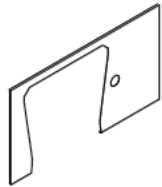
※取付位置は STEP 10 を参照してください。

大便器部前板 STEP 10

【停電対応の場合】



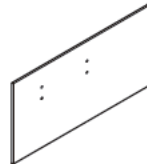
前板(大便器裏)
(1枚)



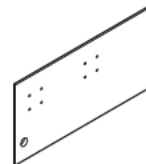
前板(大便器裏)
(1枚)

大便器部前板セット STEP 5・10・13・23

【パウチ・しぶん洗浄水栓付
背もたれの場合】



前板(大便器上)
(1枚)



前板(大便器上)
(1枚)



前板(手すり裏)
(1枚)

背もたれ取付セット ※背もたれを選択の場合 STEP 23



六角ボルト
M6×25(4本)



平座金M6
(4個)

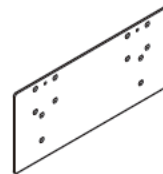


ばね座金M6
(4個)

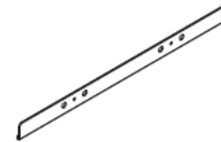


六角袋ナットM6
(4個)

背もたれ裏当て材 STEP 23



背もたれ裏当て材
(1枚)



背もたれ補強ハンガー
(1個)



バインド
タッピンねじ
φ4×8(2本)

パウチ・しぶん洗浄水栓付背もたれ取付セット ※パウチ・しぶん洗浄水栓付背もたれを選択の場合 STEP 23



六角ボルト
M6×30(8本)



平座金M6
(8個)



ばね座金M6
(8個)



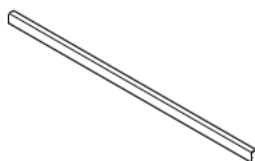
座付ナットM6
(8個)



ホース貫通部キャップ
(1個)

※パウチ・しぶん洗浄水栓付
背もたれの給水ホースの前板
貫通部用

底目地材 STEP 21



大便器部 (920mm)
(1個)

側板(大便器部用) STEP 6・10・24

【大便器部のみの場合】

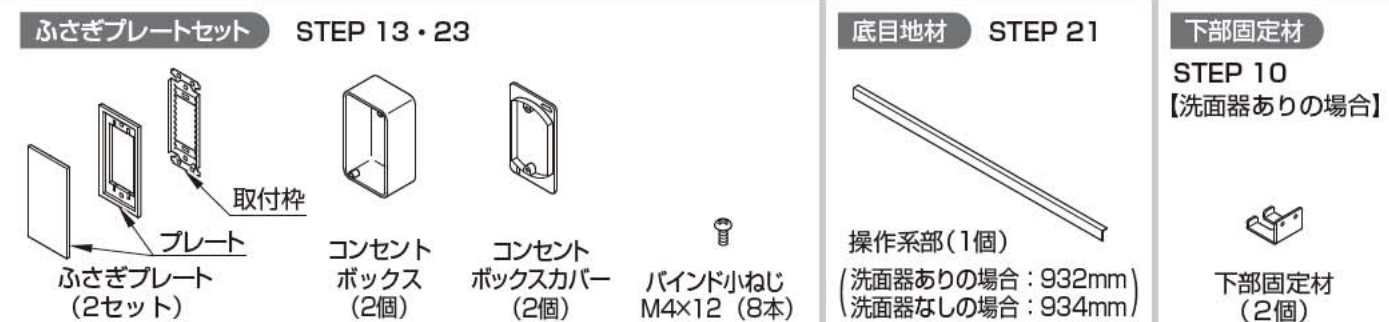
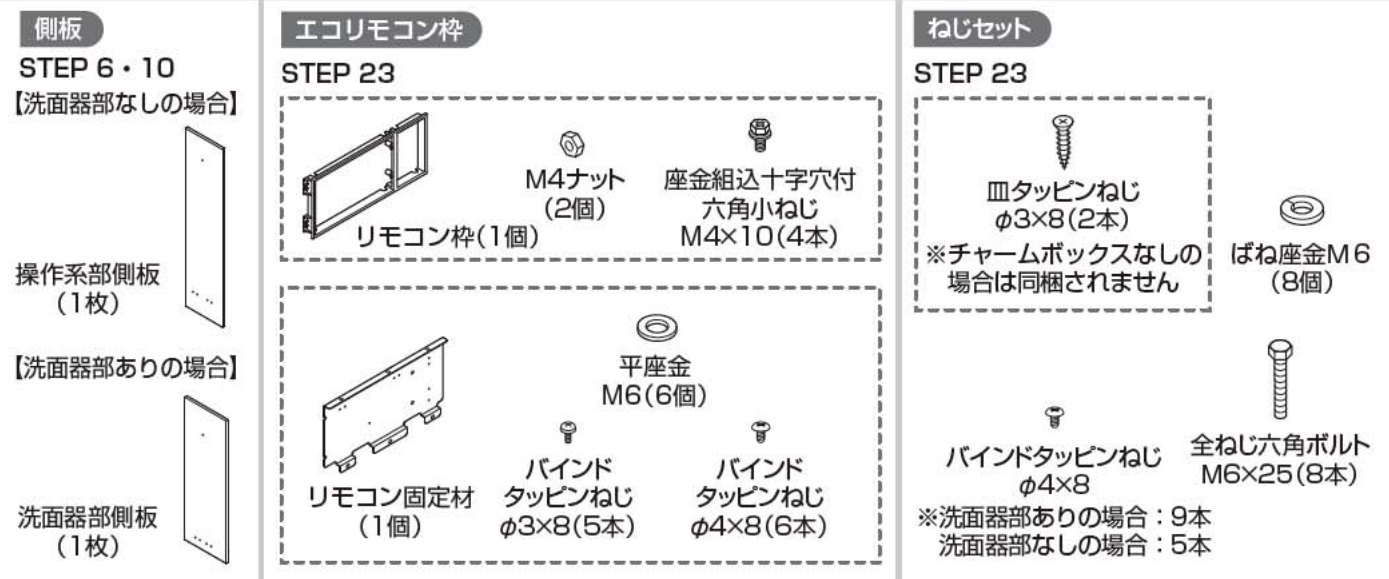
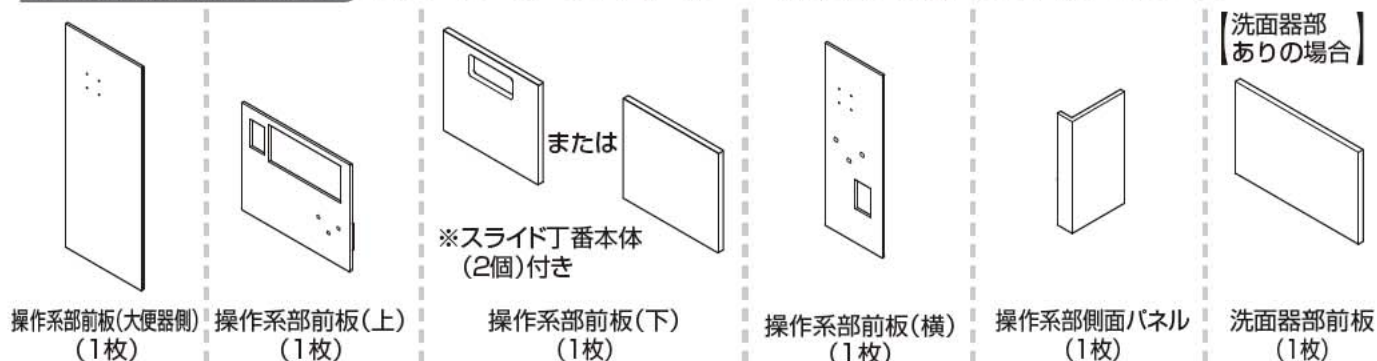


(1枚)

※側板固定材一式は大便器部フレームに
含まれます。

操作系部・洗面器部前板

操作系部・洗面器部前板セット STEP 10・12・13・22・23 ※取付位置はSTEP 10を参照してください。



汚物流し部前板

汚物流し前板セット STEP 10・11・13・19・21 ※取付位置はSTEP 10を参照してください。

【停電対応ありの場合】



3

部品の確認

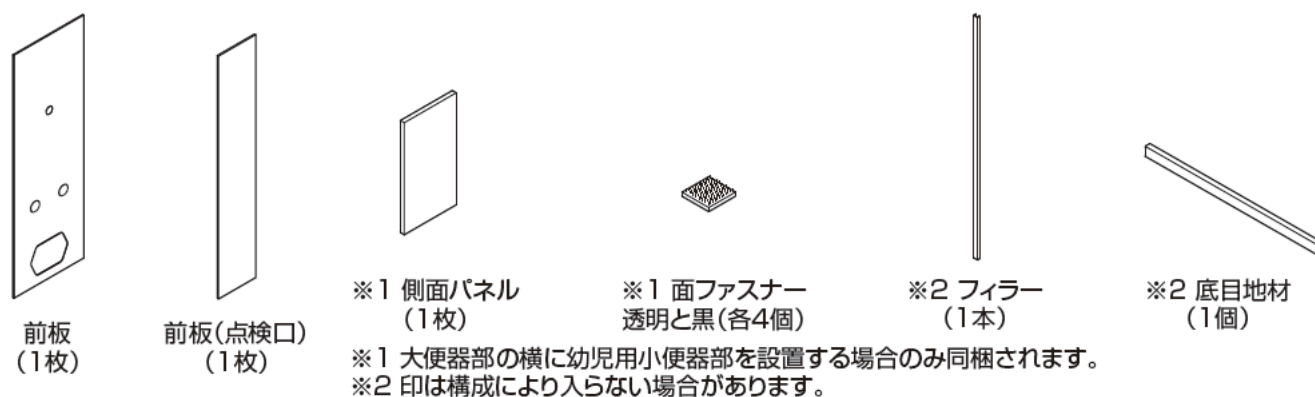
ベビーチェア・ボード部前板

ベビーチェア・ボード部前板セット STEP 10・11・13・21 ※取付位置は STEP 10 を参照してください。



幼児用小便器部前板

幼児用小便器部前板セット STEP 10・11・13・21 ※取付位置は STEP 10 を参照してください。



底目地材

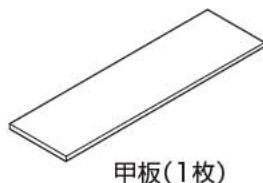
①幼児用小便器部 ②ベビーチェア・ボード部 ③汚物流し部フレームの構成パターンによって、底目地材の長さは以下ようになります。

フレームの組み合わせ	底目地の長さ(mm)
大便器部 + ①または②または③	548
大便器部 + ①～③のうち2器具	1094
大便器部 + ① + ② + ③	548+1094

大便器部・操作系部甲板

大便器部

STEP 21



甲板(1枚)

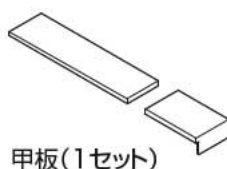


面ファスナー
透明と黒
(各6個)

操作系部

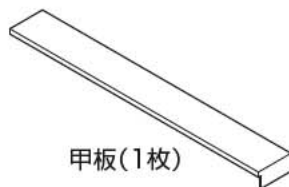
STEP 21

【手洗器ありの場合】



甲板(1セット)

【手洗器なしの場合】



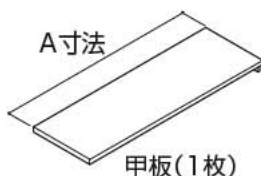
甲板(1枚)



面ファスナー
透明と黒
(各8個)

甲板(ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部)

STEP 21



甲板(1枚)



面ファスナー
透明と黒

※ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部甲板の構成パターンによって、甲板長さや面ファスナー数は以下ようになります。

フレームの組み合わせ				A寸法(mm)	面ファスナー(個)
汚物流し部	—	—	側板あり	546	4
汚物流し部	—	—	—	584	
—	幼児用小便器部	—	側板あり	546	
—	幼児用小便器部	—	—	584	
—	—	ベビーチェア・ボード部	側板あり	406	8
汚物流し部	—	ベビーチェア・ボード部	側板あり	952	
汚物流し部	—	ベビーチェア・ボード部	—	990	
—	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	側板あり	952	
—	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	—	990	
汚物流し部	幼児用小便器部	—	側板あり	1092	
汚物流し部	幼児用小便器部	—	—	1130	12
汚物流し部	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	側板あり	1498	
汚物流し部	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	—	1536	

3

部品の確認

側板(ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部)

STEP 5・6・9・10



側板(1枚)



側板上部固定材(1個)



側板下部固定材(1個)

L型幅木
L=246mm
(1枚)タッピンねじ
φ4×12(6本)バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)皿タッピンねじ
φ4×8(2本)大形角呼び径6
(1個)

大便器

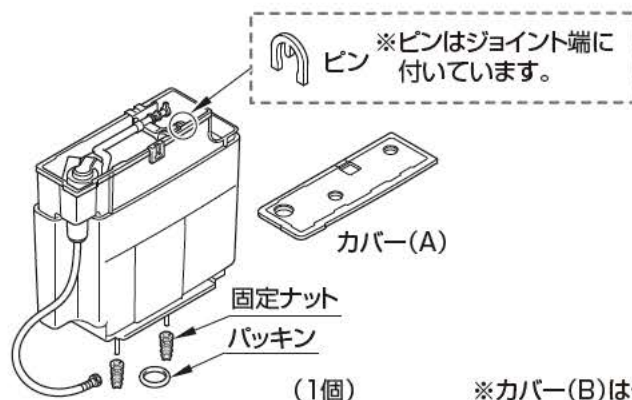
大便器セット STEP 3・23

便器本体
(1台)サイドカバー(左)
(1枚)サイドカバー(右)
(1枚)皿木ねじ
φ5.8×56(1本)木ねじ
φ4.8×63(2本)化粧キャップ(後)
(2個)固定片
(1個)化粧キャップ(前)
(1個)木ねじ
(固定片用)
φ5×50(2本)ワッシャー
(後部固定用)
(2枚)

3

セットタンク(大便器用)

STEP 4・18・24



※カバー(B)は付属材セット(大便器)に同梱

付属材セット(大便器)

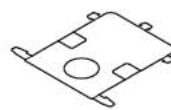
STEP 18・23



はかま目地材L
(1個)



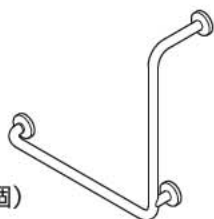
はかま目地材R
(1個)



カバー(B)
(1個)

L型手すり

STEP 23

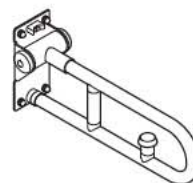


(1個)

※取付部材、説明書など同梱

はね上げ手すり

STEP 23

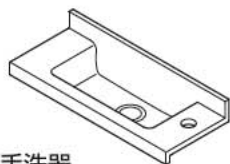


(1個)

※取付部材、説明書など同梱

手洗器(手洗器ありの場合のみ)

STEP 22



手洗器
(1個)

ねじセット

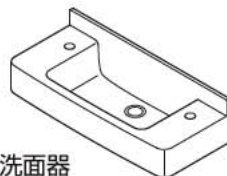


トラスタッピンねじ
φ4×16(4本)



平座金
(4個)

STEP 12



手洗器
(1個)

ねじセット



トラスタッピンねじ
φ4×16(4本)



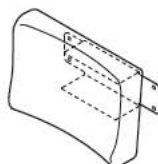
平座金
(4個)

洗面器(洗面器ありの場合のみ)

背もたれの場合

背もたれ

STEP 23



(1個)

※説明書など同梱

パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれの場合

背もたれ

STEP 23

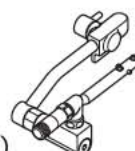


(1個)

※説明書など同梱

パウチ・しびん洗浄水栓

STEP 23



(1個)

※説明書など同梱

3

部品の確認

操作系部部材セット

排水金具セット×2

※洗面器なし・手洗器なしの場合はそれぞれ1セット減となります。

STEP 12・22

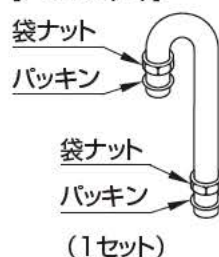
【排水金具セットソケット】



【壁排水ソケット】



【トラップ(上)】



【トラップ(下)】



【排水アダプター】



紙巻器×2

STEP 20



水石けん入れ(洗面器用)

※水石けん入れありの場合

STEP 12



ニップル×2

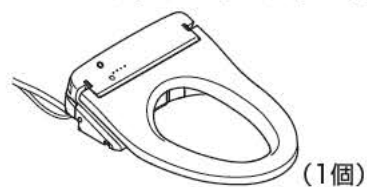
STEP 12・22



ウォシュレット(別売品)

ウォシュレット本体 STEP 23

【ウォシュレット アプリコットの場合】



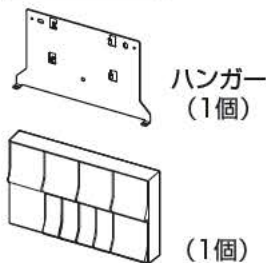
【ウォシュレット PSの場合】



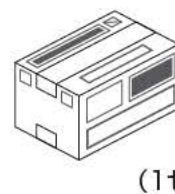
分岐金具



リモコン部品



リモコン便器洗浄ユニット (別梱包)

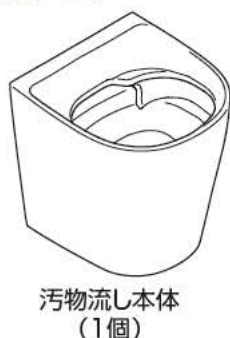


※取付部材、説明書など同梱
▶ウォシュレットの施工説明書参照

汚物流し部ありの場合

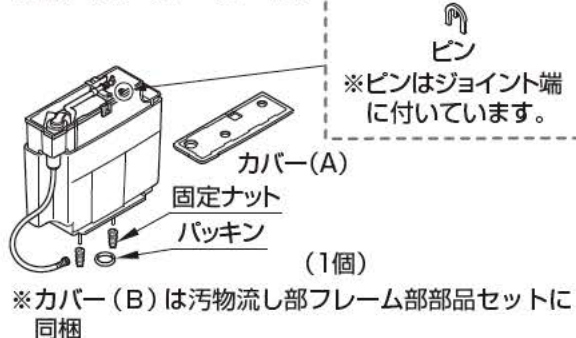
汚物流し

STEP 16



セットタンク(汚物流し用)

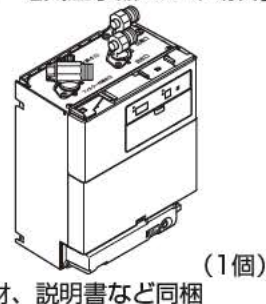
STEP 16・17・18・24



電気温水器(汚物流し用)

STEP 17

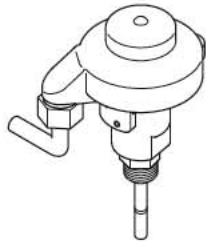
【汚物流し・電気温水器ありの場合】



汚物流し部ありの場合(つづき)

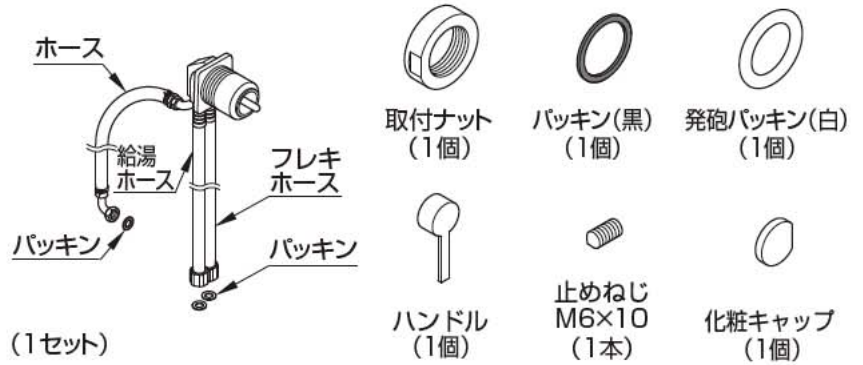
壁付シングル水栓

バキュームブレーカー STEP 17

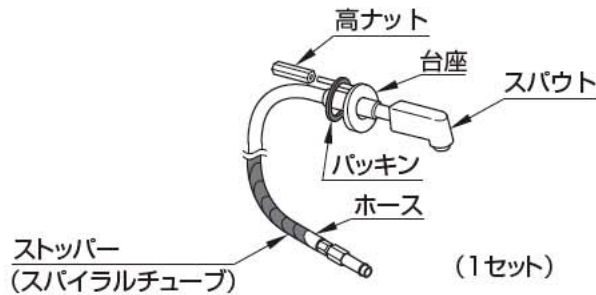


バキュームブレーカー
(1個)

シングルレバー本体部 STEP 17・24



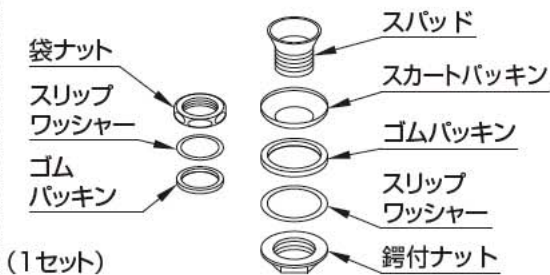
水栓スパウト STEP 17



汚物流し部部材セット

スパッド/フレキホース

STEP 16・17



STEP 8



水石けん入れ(汚物流し用) STEP 20

※水石けん入れありの場合



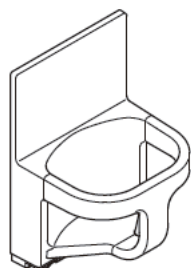
紙巻器 STEP 20



ベビーチェア・ボード部ありの場合

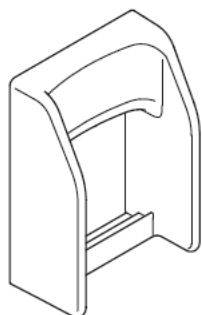
ベビーチェア

STEP 14

ベビーチェア
(1個)

ベビーチェア用背もたれ

STEP 14

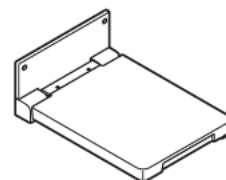
ベビーチェア用背もたれ
(1個)

【組付けねじセット】

蝶ナットM5
(7個)ばね座金M5
(7個)小形角M6
(7個)

フィッティングボード

STEP 14



フィッティングボード(1個)

※取付部材、説明書など同梱

※同梱のトラスタッピンねじ

φ5×35(3本)は使用しません。

幼児用小便器部ありの場合

幼児用小便器

STEP 15



幼児用小便器本体(1個)

※説明書など同梱

MEMO

詰めあわせ箱

止水栓・継手

STEP 8・24

※タイプによって組み合わせが異なります。
STEP 8のページを参照ください。



アングル型
止水栓 (1個)



止水栓
(1個)

※パウチ・しびん洗浄水栓付
背もたれの場合:2個



ふさぎふた
(1個)



開閉工具
(1個)



エルボ
(1セット)

※パウチ・しびん洗浄水栓付
背もたれの場合:2セット



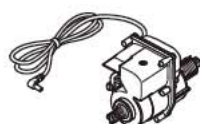
分岐金具
(1セット)

【汚物流しありの場合】

リモコン便器洗浄ユニット

※同梱の木ねじ (25mm×4本) は使用しません

STEP 18・19



便器洗浄ユニット
(1個)



受信ユニット
(1個)



ACアダプター
(1個)



ストッパー-L (緑)
(1個)



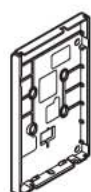
ナット
(1個)



皿ねじ
(ストッパー用)
φ3×10 (1本)



シール
(1枚)



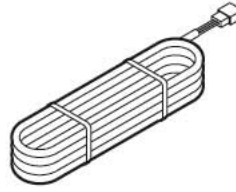
取付ハンガー
(1個)



小ねじ
(1本)



スイッチ付きカバー
(1個)



信号線 (1個)

※説明書など同梱



洗浄レバー (1個)

※停電対応ありの場合は
使用しません。

停電時洗浄レバー

STEP 10・18

※停電対応の場合のみ

※汚物流しありの場合は2セット
大便器部のみ場合は1セット



ワイヤーユニット
(1個)



洗浄レバー
(1個)



ホースクランプ
(1個)

自動水栓×2

STEP 12・22

※洗面器もしくは手洗器なしの場合は1セット、
洗面器および手洗器なしの場合は同梱されません。

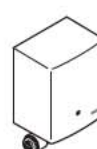


自動水栓本体 (1個)

※取付部材、説明書など同梱



フレキシホース
(1本)



止水栓(機能部付)
(1個)

詰めあわせ箱(つづき)

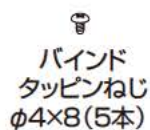
連結材ABセット STEP 5



連結材A
(1個)



連結材B
(1個)

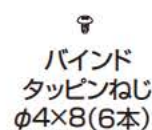


バインド
タッピンねじ
φ4×8(5本)

連結材BBセット STEP 5



連結材B
(2個)



バインド
タッピンねじ
φ4×8(6本)

※汚物流し部、幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部の構成パターンによって、連結材セットの組み合わせは以下のようになります。

フレームの組み合わせ			連結材セット		
			汚物流し部	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部
汚物流し部	—	—	AB	—	—
—	幼児用小便器部	—	—	AB	—
汚物流し部	幼児用小便器部	—	BB	AB	—
—	—	ベビーチェア・ボード部	—	—	AB
汚物流し部	—	ベビーチェア・ボード部	BB	—	AB
—	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	—	BB	AB
汚物流し部	幼児用小便器部	ベビーチェア・ボード部	BB	BB	AB

排水継手セット(大便秘器用) STEP 2・3



樹脂プラグ
(φ6×30)
(8本)



樹脂プラグ
(φ8×40)
(2本)



床フランジ
(1個)



Tボルト
(2本)



トラスタッピンねじ
φ4.5×45(4本)

※同梱のバックン(1個)、
白色バックン(1個)は
使用しません。



便器
接続部
(1個)



床フランジ
接続部
(1個)



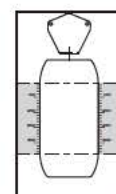
横引管
(1個)



Pシール
(樹脂フランジ用)
(1個)



トラスタッピンねじ
φ6×60(2本)
※同梱のTボルト(2本)は
使用しません。

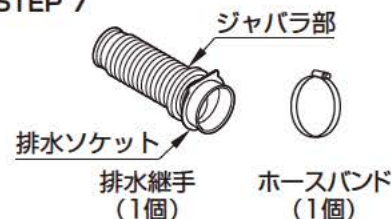


位置決めシート
(1枚)

排水継手セット(汚物流し用)

【汚物流しありの場合】

STEP 7



排水ソケット
排水継手
(1個)

ジャバラ部

ホースバンド
(1個)

STEP 16

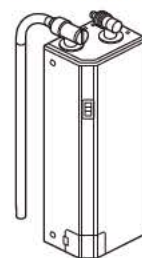


排水バックン(1個)
※説明書など同梱

電気温水器(洗面器用)

STEP 12

※電気温水器ありの場合



電気温水器本体
(1個)
※取付部材、説明書など同梱

手順編

STEP1.フレーム取付準備 ▶ 34	STEP13.前板(取り付け) ▶ 70
STEP2.排水部材 ▶ 35	STEP14.ベビーチェア・ ボード部 ▶ 73
STEP3.大便器 ▶ 38	STEP15.幼児用小便器 ▶ 75
STEP4.セットタンク ▶ 40	STEP16.汚物流し ▶ 77
STEP5.フレーム ▶ 41	STEP17.汚物流し用 セットタンク ▶ 80
STEP6.フィラー固定材・ 側板(側板がある場合) ▶ 51	STEP18.便器洗浄ユニット ▶ 86
STEP7.汚物流し用 排水継手 ▶ 54	STEP19.タッチスイッチ ▶ 89
STEP8.止水栓 ▶ 55	STEP20.器具類 ▶ 90
STEP9.幅木 ▶ 60	STEP21.甲板 ▶ 91
STEP10.側面パネル・ 前板(準備) ▶ 62	STEP22.手洗器 ▶ 95
STEP11.フィラー ▶ 65	STEP23.大便器周辺器具類 ▶ 98
STEP12.洗面器 ▶ 66	STEP24.試運転・確認 ▶ 106

マーク表示について



手締めで

電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



下穴
φ3

下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



カット

カットしてください。



脱脂

脱脂用アルコールで
脱脂してください。



250mm以上の
ロングビット

ロングビットの電動ドライバーを
使用してください。



けがき



けがき

けがきをしてください。



水平確認



垂直確認

水平器で水平・垂直確認
してください。



塗布

塩ビ用接着剤を塗布
してください。
(例:塗布の場合)

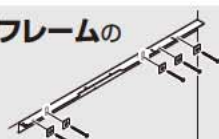
STEP1. フレーム取付準備

1 フレーム固定位置の墨出し



▶P.34

2 大便器部フレームの取付準備



▶P.34

1 フレーム固定位置の墨出し

① 商品の仕様を確認し、床壁固定位置を墨出しする

▶事前施工情報参照

【下地がコンクリートの場合】

② 樹脂プラグ用の下穴を開ける



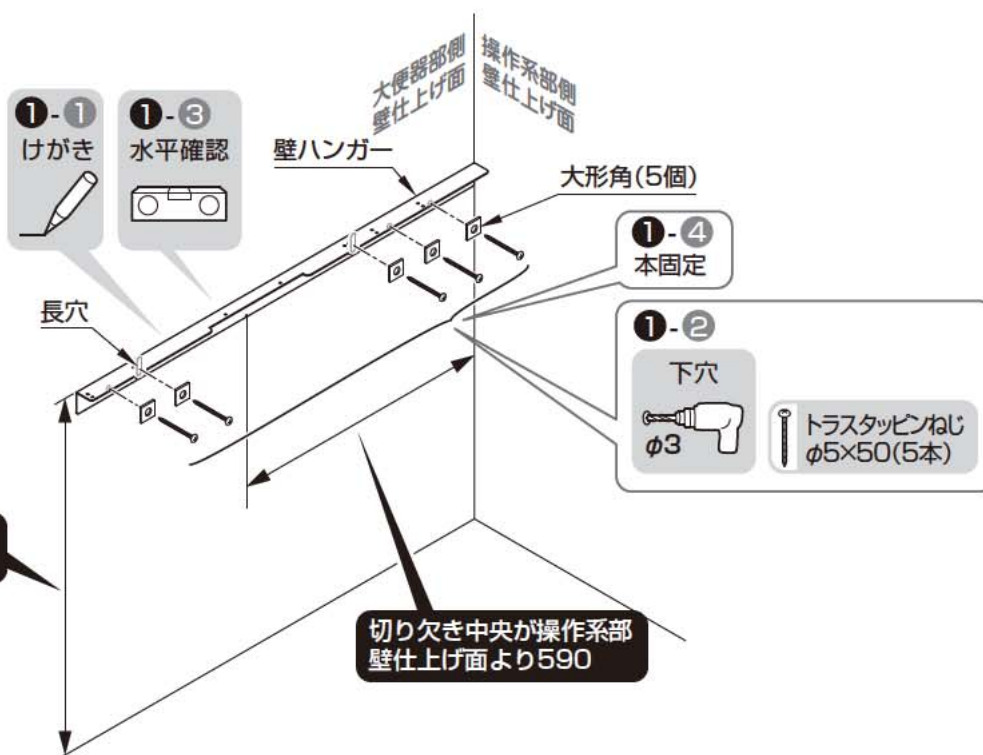
床下穴φ8
深さ55mm



2 大便器部フレームの取付準備

※大便器部フレームが他のフレームの基準になります。

① 壁ハンガーの取り付け



STEP2. 排水部材

2 排水部材

1 便器取付基準線、便器接続部中心、固定片取付穴位置のけがき

▶ P.35

2 床フランジの取り付け

▶ P.35

3 排水継手の取付準備

▶ P.36

4 排水継手の組み立て

▶ P.36

5 排水継手の取り付け

▶ P.37

1 便器取付基準線、便器接続部中心、固定片取付穴位置のけがき

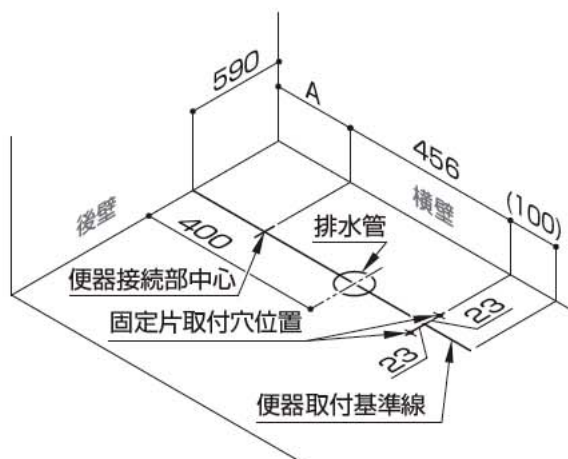
便器取付基準線、便器接続部中心、固定片取付穴位置をけがく
※便器取付基準線は排水心から取らないこと。

けがき

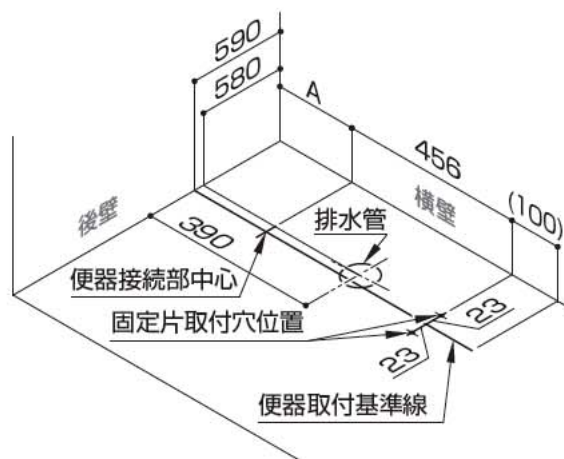


※鉛筆など
(あとで消せるもの)

排水位置が指定寸法通りの場合(横壁から590mm・後壁から400mm)

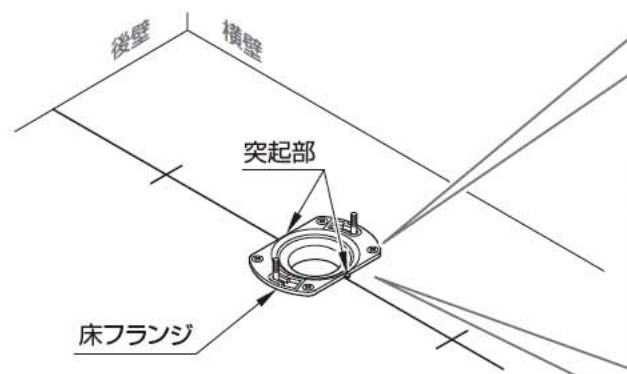


排水位置が指定寸法と異なる場合



	A寸法
車いす・オストメイト配慮セット、乳幼児連れ配慮セット	232
車いす使用者優先配慮セット	157

2 床フランジの取り付け



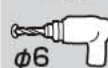
1 床フランジ固定用の下穴を開ける(4カ所)

※床フランジは突起部のどちらかが後壁を向くように設置してください。
※必ず樹脂プラグを入れてください。



床下穴φ6
深さ40mm

下穴

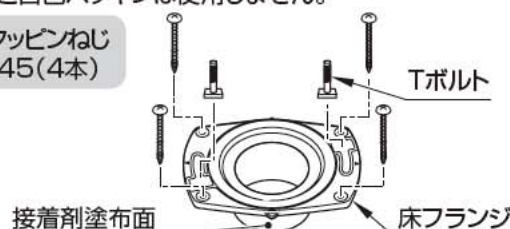


2 床フランジの取り付け

▶床フランジ施工説明書参照

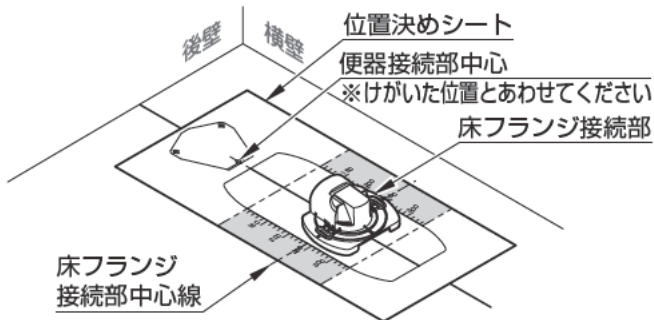
※パッキンと白色パッキンは使用しません。

トラスタッピンねじ
φ4.5×45(4本)



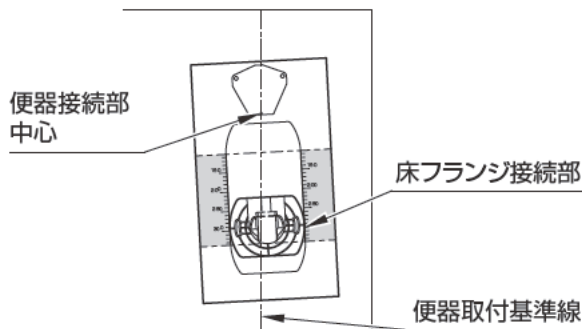
3 排水継手の取付準備

- ① 床フランジ接続部を床フランジの上に仮置きする
- ② けがいている便器接続部中心に位置決めシートの便器接続部中心をあわせて置く
- ③ 位置決めシートが床フランジ接続部と重ならないように、便器接続部中心を基準として置く

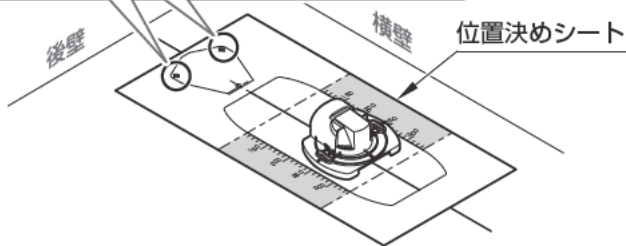


排水位置が指定寸法と異なる場合

- ※ ① でけがいた便器取付基準線に対して便器接続部中心を基準として斜めに取り付けます。

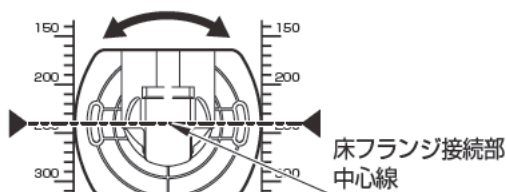


- ④ 便器接続部取付穴位置をけがき (2カ所)

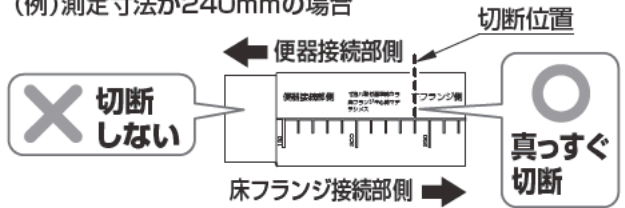


4 排水継手の組み立て

- ① 床フランジ接続部中心線の指す目盛りが左右同じになるように、床フランジ接続部を微調整し、目盛りを読む

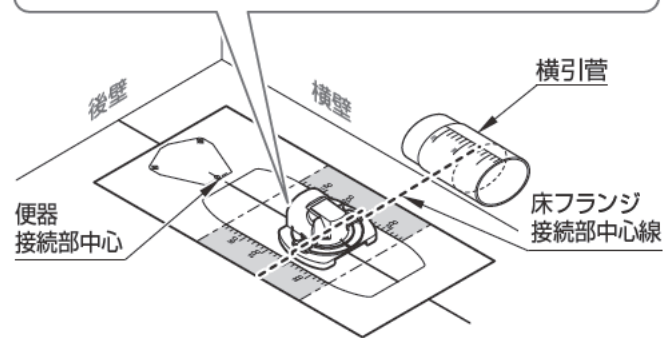


- ② 同じ目盛り位置で横引管を真っすぐに切断する (例)測定寸法が240mmの場合



注意

- ❗ 必ず守る 切断後、バリを取り除く
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

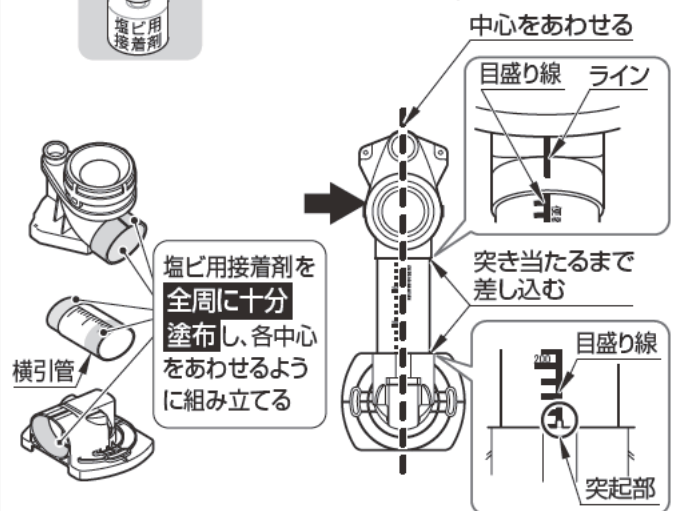


- ③ 排水継手の組み立て

全周塗布



- ③-① ラインと突起部を目盛り線とあわせて組み立てる



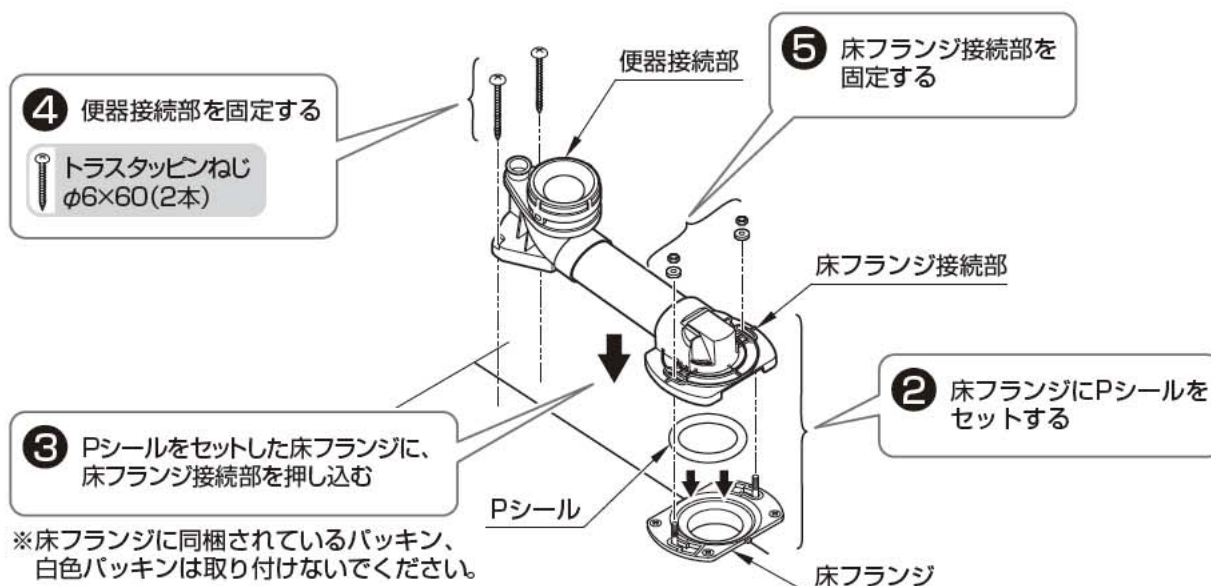
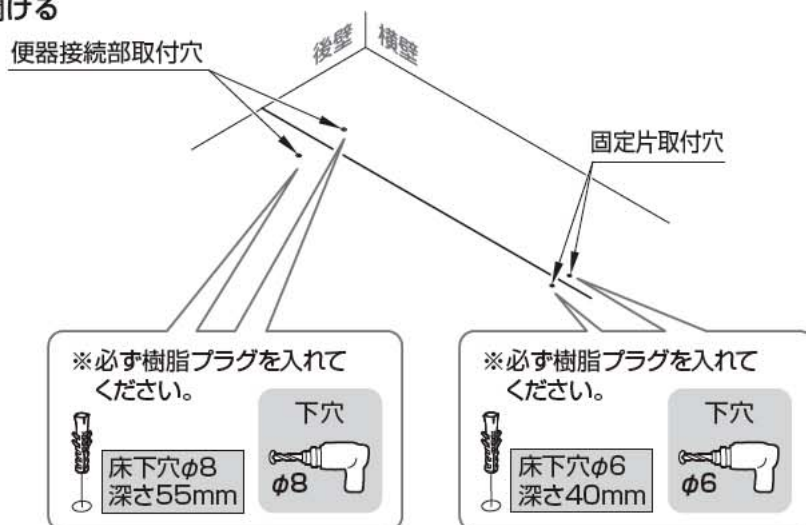
- ③-② 床フランジ接続部を仮置きして、ガタツキがないか必ず確認する

注意

- ❗ 必ず守る 横引管は中心をあわせ、最後まできちんと押し込む
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。
- ❗ 必ず守る 床面に対してガタツキがないように接着する
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

5 排水継手の取り付け

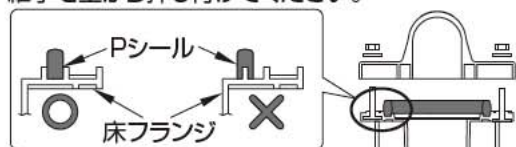
① 下穴を開ける



⚠ 注意

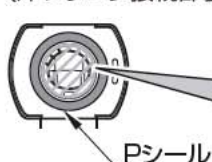
Pシール取り扱い上の注意

Pシールは必ずフランジ側にセットしてから、排水継手を上から押し付けてください。



Pシールは溝にきちんと取り付けてください。

(床フランジ接続部裏面)



注意
斜線内にはみ出させない



必ず守る

STEP3. 大便器

1 大便器固定の準備



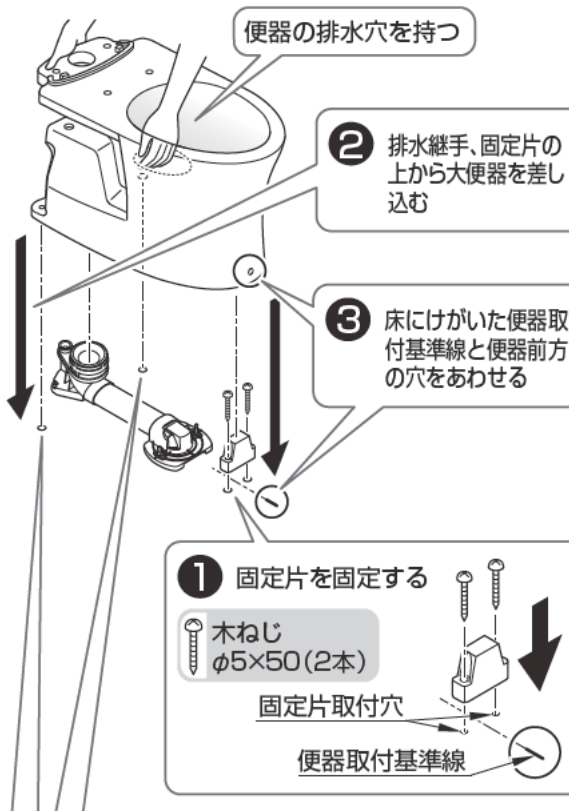
▶ P.38

2 大便器の固定



▶ P.38

1 大便器固定の準備



4



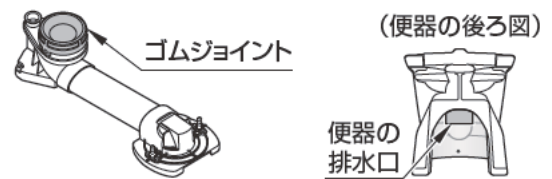
※必ず樹脂プラグを入れてください。

注意



2 大便器の固定

1 便器の排水口、ゴムジョイントのゴミや汚れをふき取る



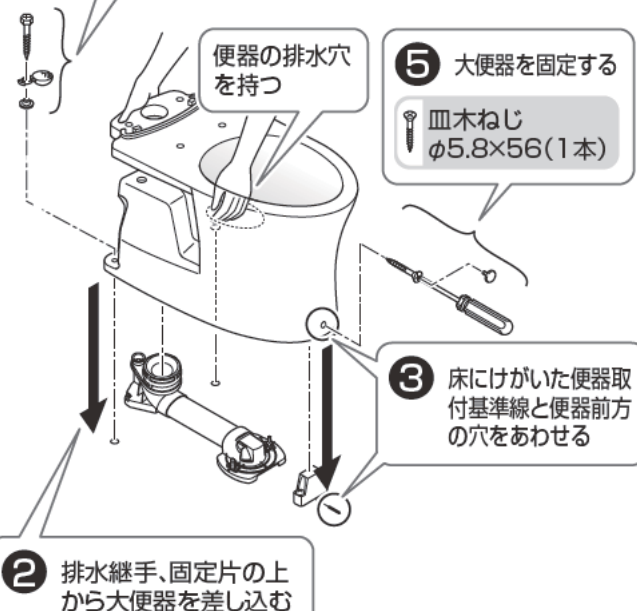
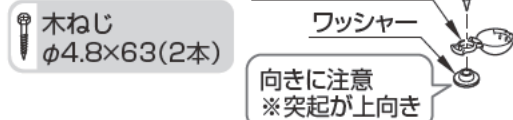
! 注意



必ず守る

- ・便器後部の固定を必ず先に行う
前側の固定を先に行くと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
- ・手締めにて行い、木ねじを締めすぎない
強く締めすぎると、便器が割れるおそれがあります。

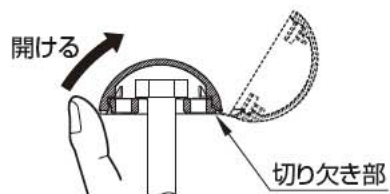
4 大便器を固定し、化粧キャップを取り付ける



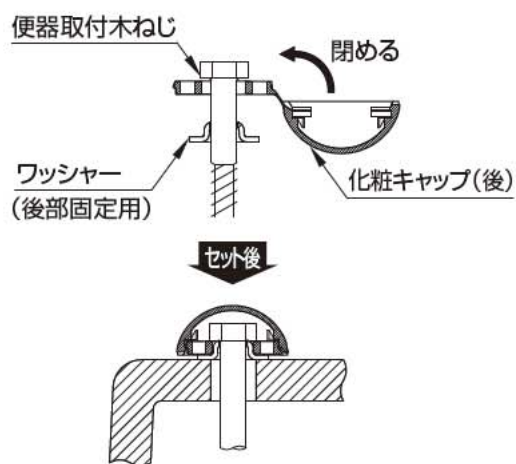
化粧キャップ付きねじの固定方法

【取り付けかた】

- 化粧キャップを開ける
木ねじを手で持ち、切り欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げる。

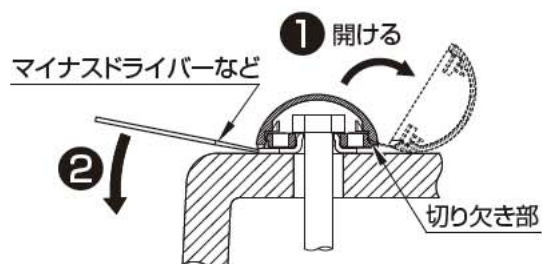


- 木ねじを取付後、化粧キャップを矢印の方向に曲げて、「パチッ」と音がするまで押し込む。



【取り外しかた】

化粧キャップの切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押さえて開く。



サイドカバーは後工程で取り付けますので、大切に保管してください。
・サイドカバーの取り付け ▶ P.103 STEP23

MEMO

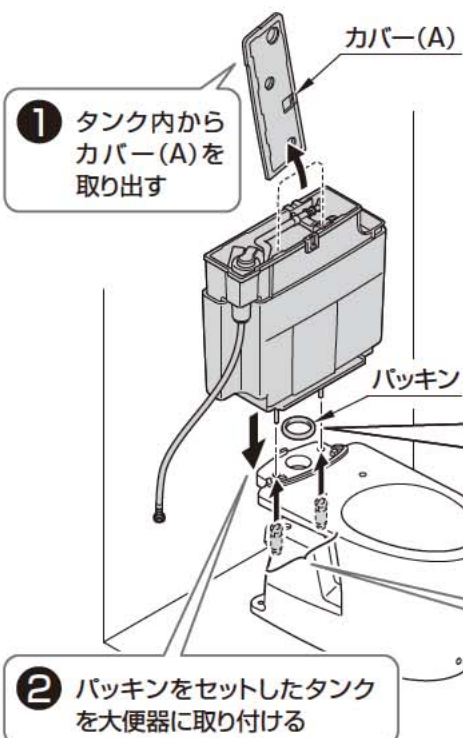
STEP4. セットタンク

4

セットタンク

1 セットタンクの取り付け

※右勝手、左勝手共通
※給水ホースは大便器向かって左側



注意



パッキンがセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

③ 固定ナットを締め付ける

注意



必ず守る

左右の固定ナットを確実に締める
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

固定ナットを締め付けるときは必ず手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。

固定ナットを手締めでかたく締め付ける。



MEMO

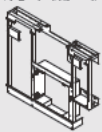
STEP5. フレーム

1 大便器部フレームの取付準備、取り付け



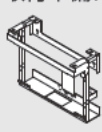
▶ P.41

2 操作系部フレームの取付準備、取り付け



▶ P.43

3 洗面器部フレームの取付準備、取り付け



▶ P.45

4 ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部の連結材の取り付け



▶ P.46

5 ベビーチェア・ボード部フレームの取付準備、取り付け



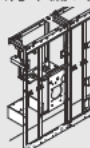
▶ P.47

6 幼児用小便器部フレームの取付準備、取り付け



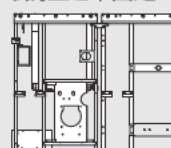
▶ P.48

7 汚物流し部フレームの取付準備、取り付け



▶ P.49

8 フレームの調整と本固定



▶ P.50

5
フレーム

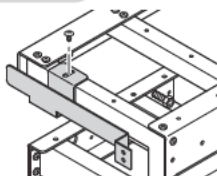
1 大便器部フレームの取付準備、取り付け

1 調整ねじの取り付け(フレーム準備)

①-③

大便器部横に別のフレームが付く場合

バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)



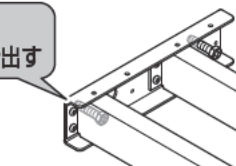
2 フレームと壁ハンガーの取り付け

バインドタッピンねじ
φ4×8(8本)

①-②【上部】2カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

10mm程度
フレームから突き出す

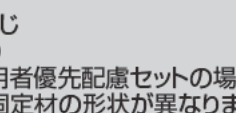


①-③

大便器部のみの場合

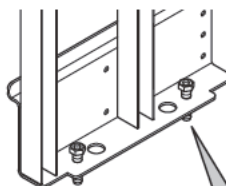
側板が取り付け側に、側板下部固定材を取り付ける

皿タッピンねじ
φ4×8(2本)
※車いす使用者優先配慮セットの場合、
側板下部固定材の形状が異なります。



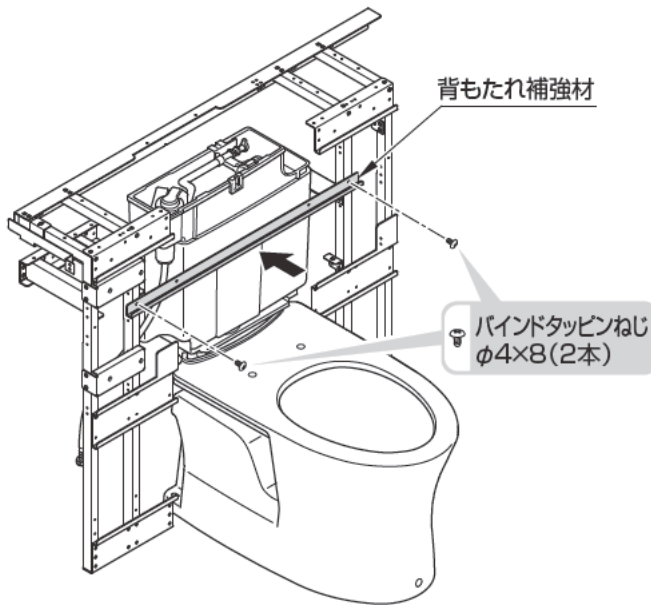
①-①【下部】4カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(4本)



15mm程度
フレームから突き出す

③ 背もたれ補強材の仮固定



④ フレームの調整

※あらかじめ床固定用下穴位置を確認してください。

④-② 水平確認



垂直確認



④-③

下げ振りまたは
レーザーなどで
垂直確認しながら
床のねじをと
める

④-①

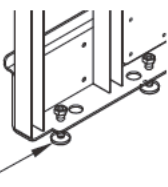
ねじ受材は両面テープ
で張り付ける



アプセットタッピンねじ
φ8×30(壁:2本、床:4本)

【壁】2カ所

【床】4カ所



⑤ フレームと横材の本固定

⑤-①

バインドタッピンねじ
φ4×8(8本)

⑤-③

【壁】2カ所

ねじ受材を張り付ける



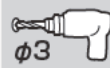
アプセット
タッピンねじ
φ8×30(2本)



⑤-④ 【壁】2カ所

フレームを固定する

下穴



トラス
タッピンねじ
φ5×50(2本)

⑤-② 【床】4カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(4本)



⑤-④ フレームを固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(4本)

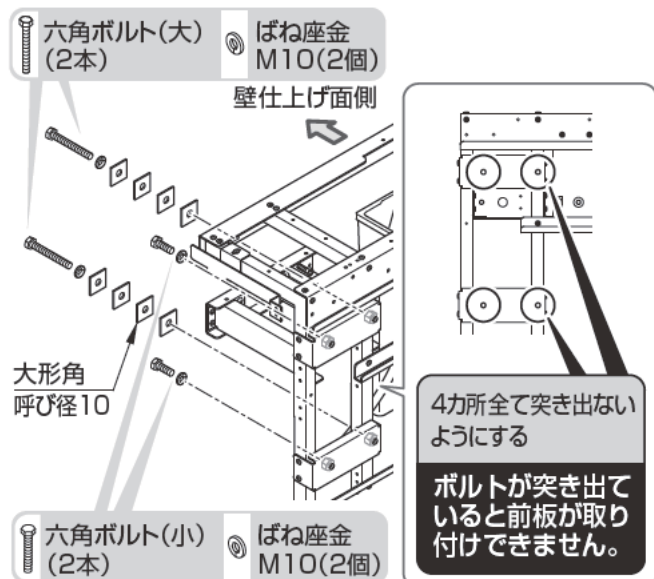
※必ず樹脂プラグを入れて
ください。



床下穴φ8
深さ55mm

※調整ねじの取り付け、フレームの水平・垂直調整、フレーム床壁
固定位置のけがき、フレーム取り外し、樹脂プラグ取り付け、
フレーム取り付けは、大便器部フレーム以外の各フレームも
同様に行ってください。

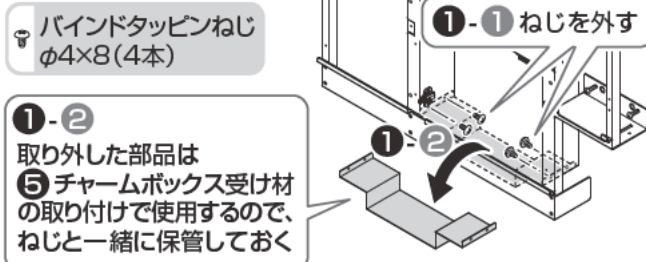
⑥ はね上げ手すり固定ボルトの取り付け



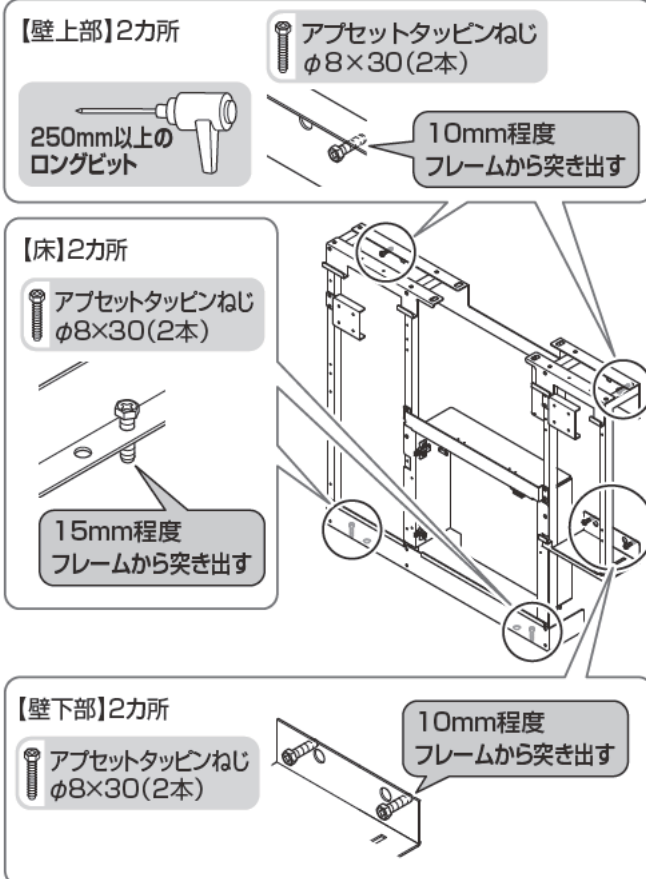
MEMO

2 操作系部フレームの取付準備、取り付け

① チャームボックス受け材を外す



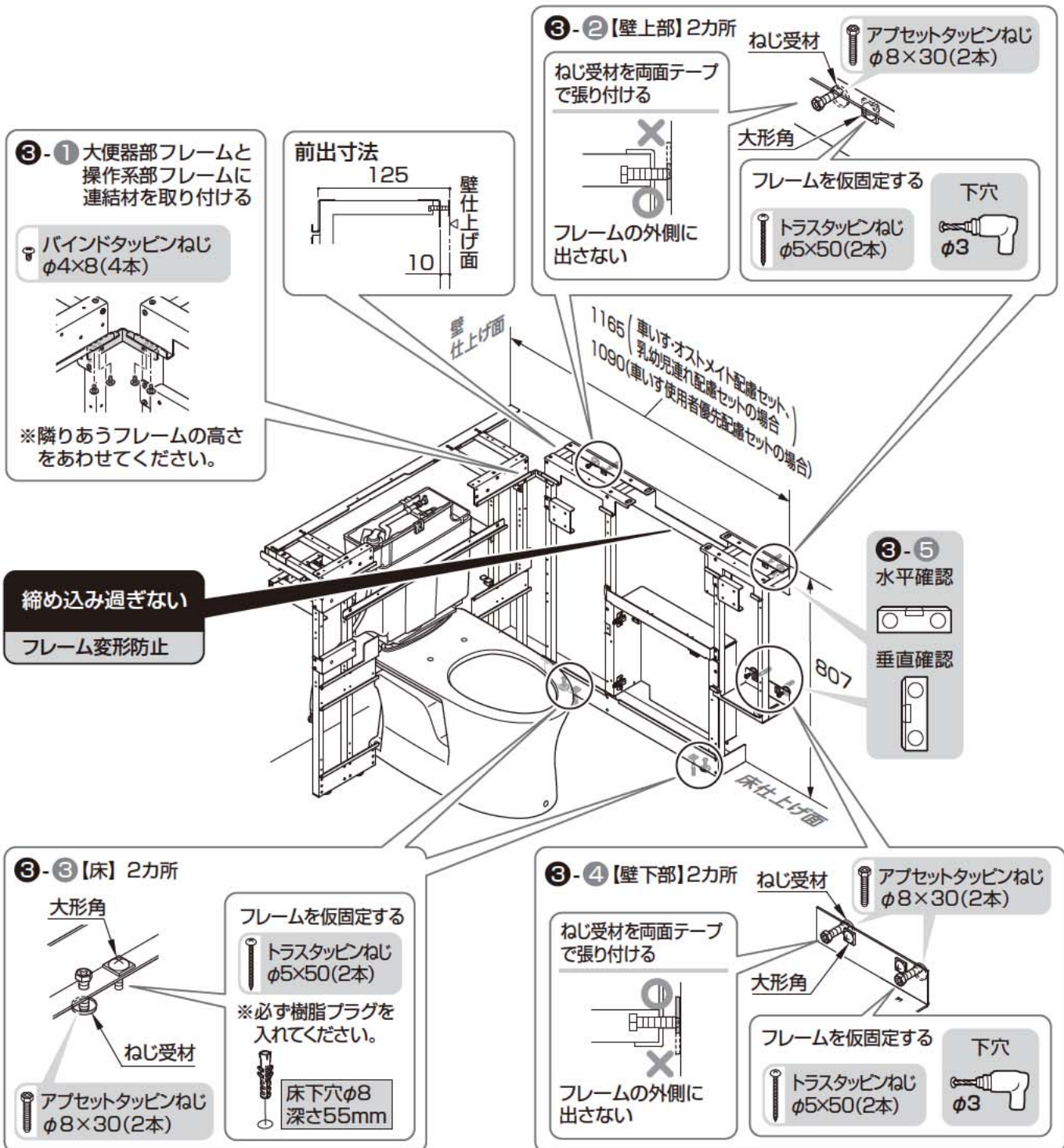
② 調整ねじの取り付け(フレーム準備)



MEMO

③ フレームの位置調整

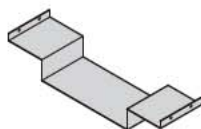
※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。



④ 仮固定のねじを本固定する

⑤ STEP5 (P.43) で外したチャームボックス受け材を取り付ける

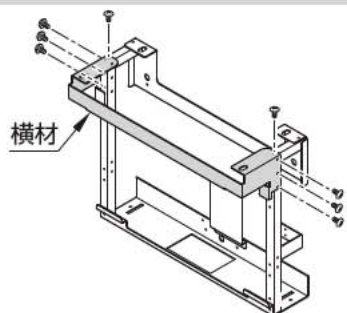
バインドタッピンねじ $\phi 4 \times 8$ (4本)



3 洗面器部フレームの取付準備、取り付け

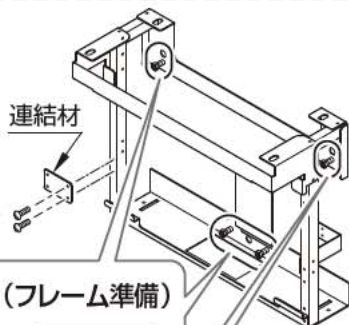
1 横材の固定

洗面器部フレームに同梱
バインドタッピンねじ
φ4×8(8本)



2 連結材の固定

洗面器部フレームに同梱
バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)



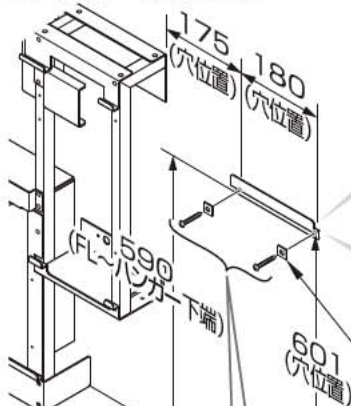
3 調整ねじの取り付け(フレーム準備)

アプセット
タッピンねじ
φ8×30(4本)

10mm程度
フレームから
突き出す



4 フレームハンガーの取り付け



4-1
けがき

4-2
水平確認

大形角(2個)

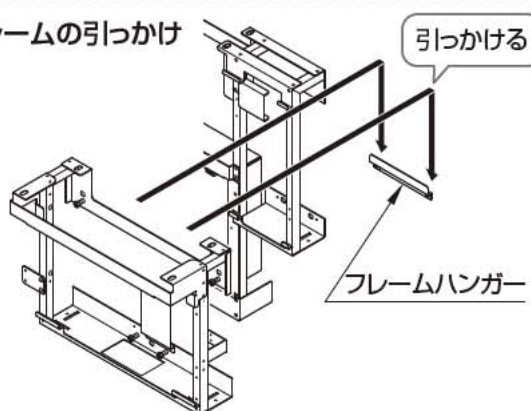
4-3 本固定

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

下穴



5 フレームの引っかけ



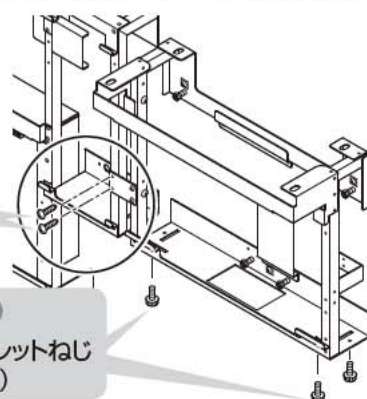
6 操作系部フレームと洗面器部フレームを連結する

6-1

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

6-2

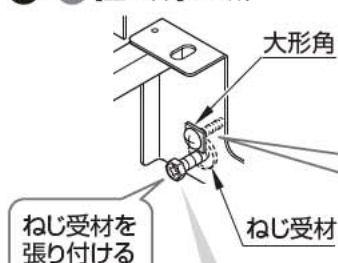
ローレットねじ
(3本)



7 フレームの位置調整

7-1 ねじ受材を両面テープで壁に仮止めする

7-2 【壁上部】2カ所

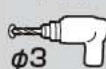


7-5

フレームを仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

下穴



アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

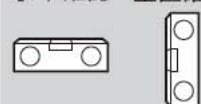
前出寸法

225

壁仕上げ面

7-4

水平確認 垂直確認



7-3 【壁下部】2カ所
大形角

アプセット
タッピンねじ
φ8×30(2本)



7-5 フレームを
仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(1本)

下穴



5 ベビーチェア・ボード部フレームの取付準備、取り付け

① 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁】2カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

10mm程度
フレームから突き出す

250mm以上の
ロングビット

【床】2カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

15mm程度
フレームから突き出す

② 連結材の取り付け

・大便器部横と連結する

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

※隣りあうフレームの
高さ・前出をあわせて
ください。

③ フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。

③-①【壁】2カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

ねじ受材を
両面テープで
張り付ける

ねじ受材
大形角
フレームの外側に出さない

③-④ フレームを仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

下穴
φ3

前出寸法

仕壁
225
10
上
面

③-③ 水平確認 垂直確認

③-②【床】2カ所

ねじ受材を張り付ける

※必ず樹脂プラグを
入れてください。

床下穴φ8
深さ55mm

③-④

フレームを
仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(1本)

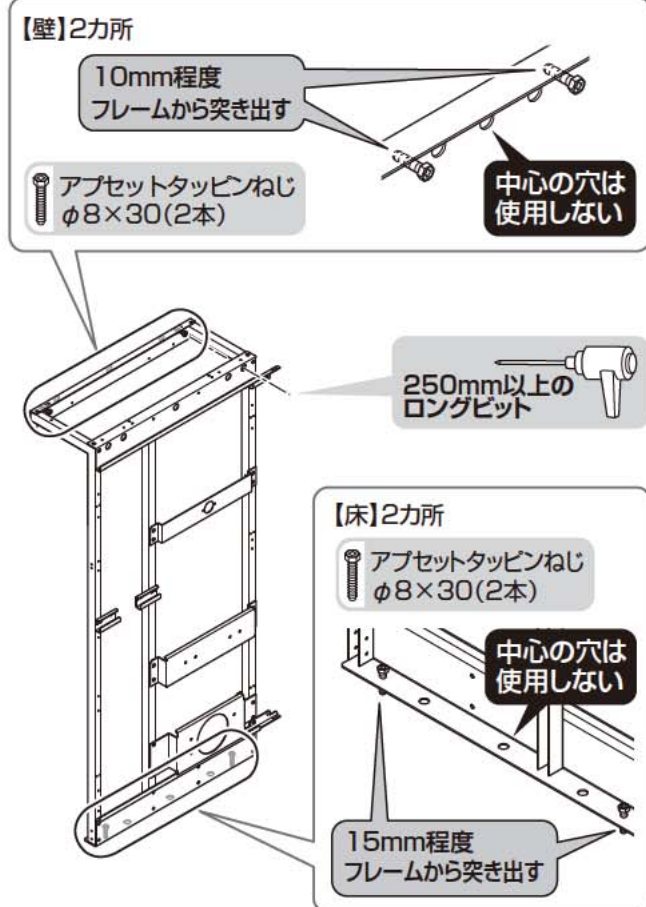
アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

大形角
ねじ受材

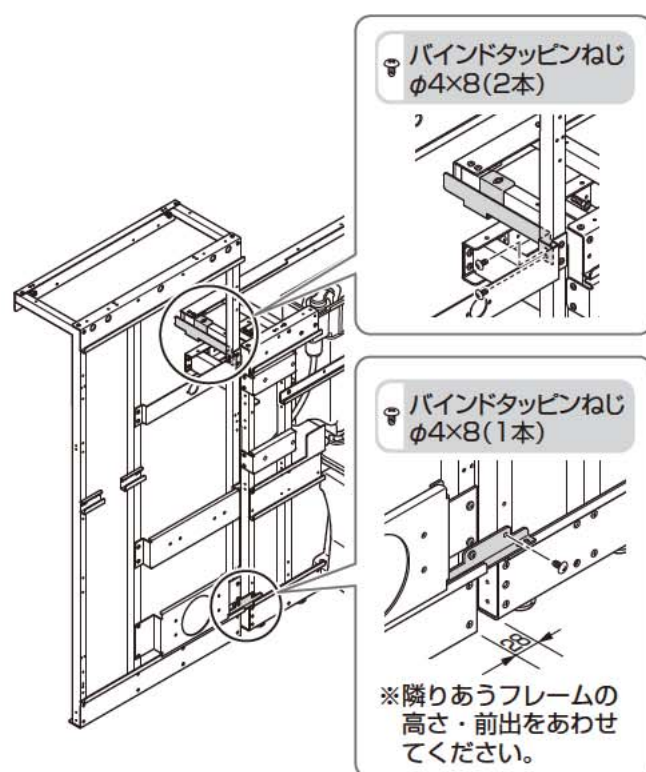
MEMO

6 幼児用小便器部フレームの取付準備、取り付け

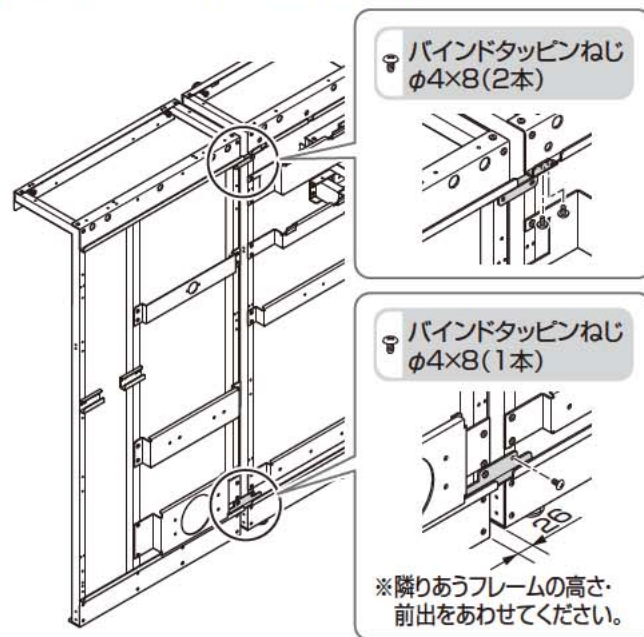
1 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)



2 連結材の取り付け 【大便器部と連結する場合】

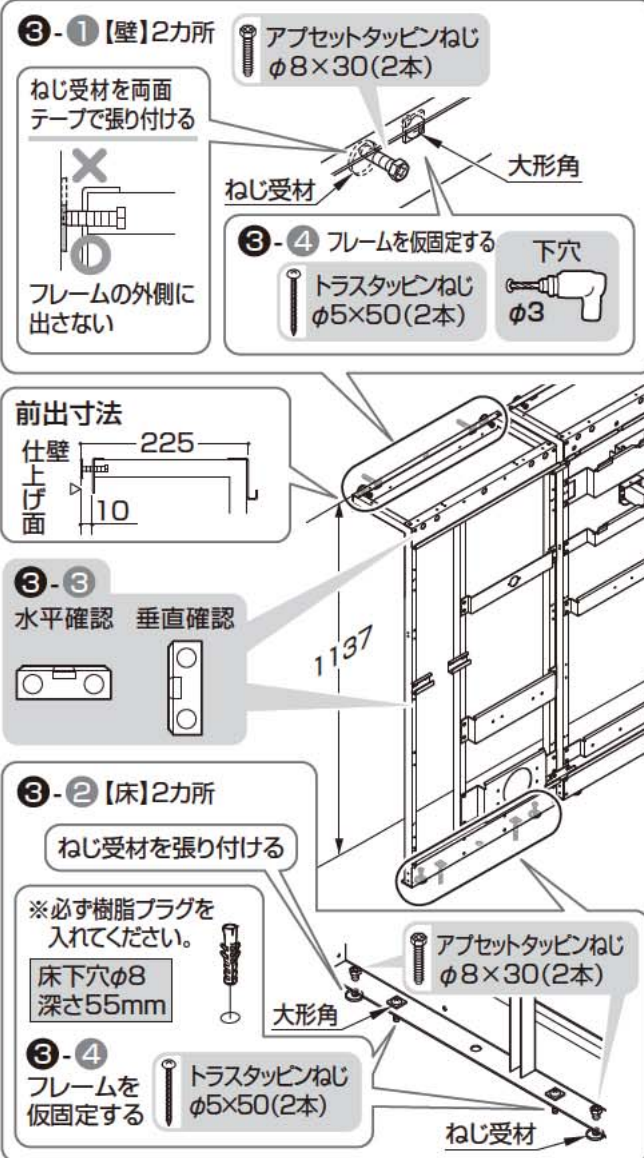


【ベビーチェア・ポード部に連結する場合】



3 フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。



7 汚物流し部フレームの取付準備、取り付け

① 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁】2カ所

10mm程度
フレームから突き出す

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

中心の穴は
使用しない

250mm以上の
ロングビット

【床】2カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

中心の穴は
使用しない

15mm程度
フレームから突き出す

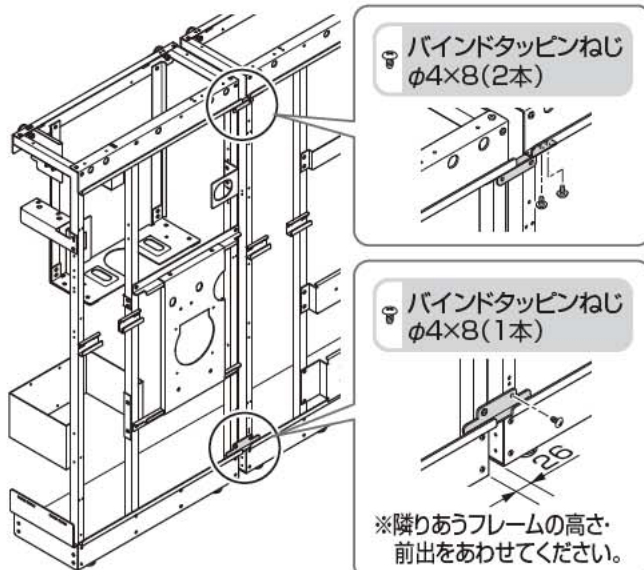
② 連結材の取り付け 【大便器部と連結する場合】

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

※隣りあうフレームの
高さ・前出をあわせて
ください。

【ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部と連結する場合】
※イラストは幼児用小便器部と連結する場合です。
ベビーチェア・ボード部の場合も同様です。



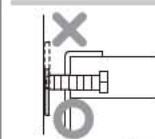
③ フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。

③-①【壁】2カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

ねじ受材を両面
テープで張り付ける



フレームの外側に
出さない

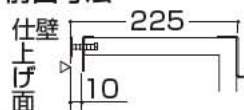
ねじ受材 大形角

③-④ フレームを仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

下穴
φ3

前出寸法



③-③ 水平確認 垂直確認



③-②【床】2カ所

ねじ受材を張り付ける

※必ず樹脂プラグを
入れてください。

床下穴φ8
深さ55mm

③-④ フレームを
仮固定する

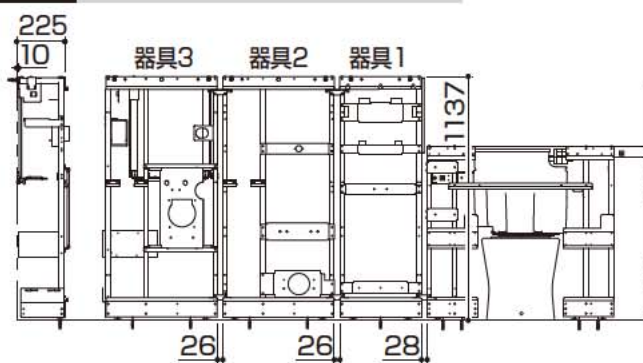
トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

大形角

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

ねじ受材

8 フレームの調整と本固定



- ① フレームの位置調整
大便器部横の器具にあわせて調整する

- ② 各器具のねじを本固定する

MEMO

MEMO

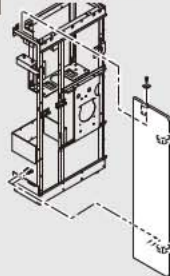
STEP6. フィラー固定材・側板（側板がある場合）

1 フィラー固定材の取り付け



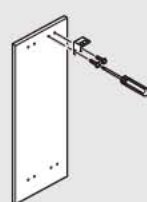
▶ P.51

2 側板の仮固定



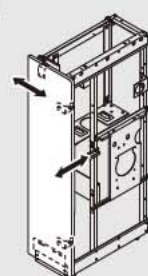
▶ P.52

3 側板の準備



▶ P.52

4 側板の本固定



▶ P.53

※本施工説明書では、右勝手のため側板が向かって左側に取り付く場合を記載します。
左勝手の場合は側板が向かって右側に取り付くので左右反転になります。

1 フィラー固定材の取り付け

※大便器部のみの場合は **3** へ進んでください。

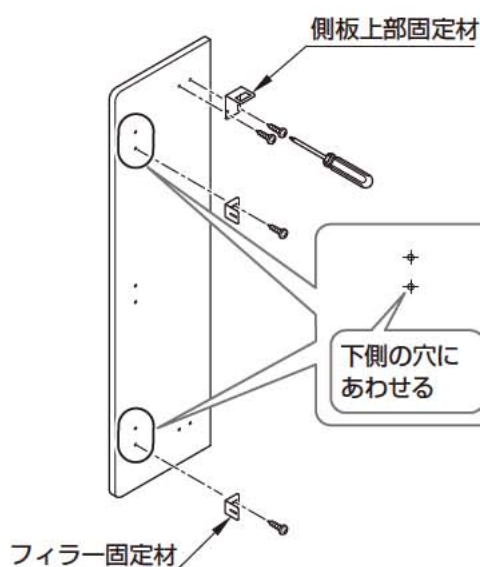
【汚物流し部、幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部がある場合】

側板あり

フィラー固定材と側板上部固定材をねじで仮固定する
※長穴の中心を目安に手で動かせる程度。

タッピンねじ
φ4×12(4本)

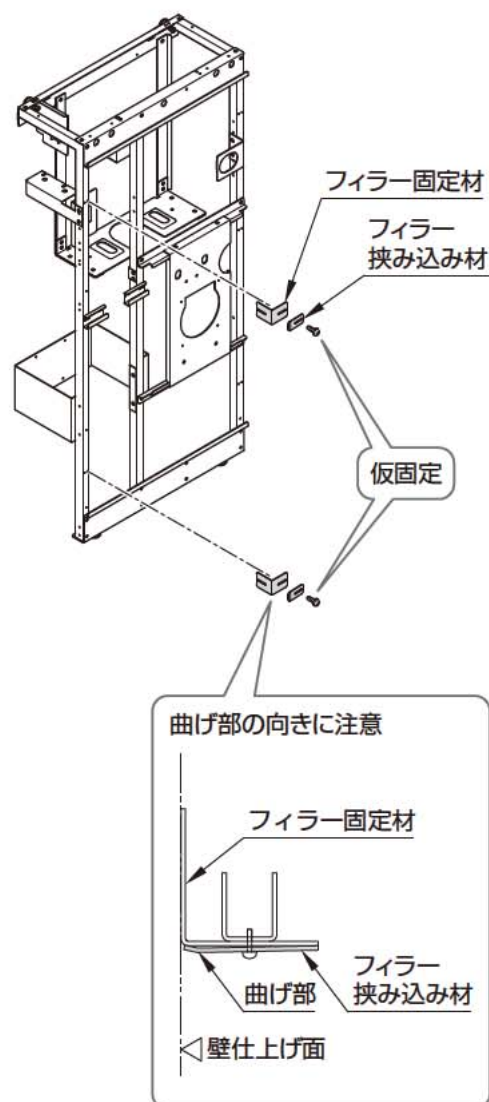
手締めで



側板なし

フィラー固定材とフィラー挟み込み材をフレームに仮固定する
※図は汚物流し部の場合。
※幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部の場合も同様です。

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)



2 側板の仮固定

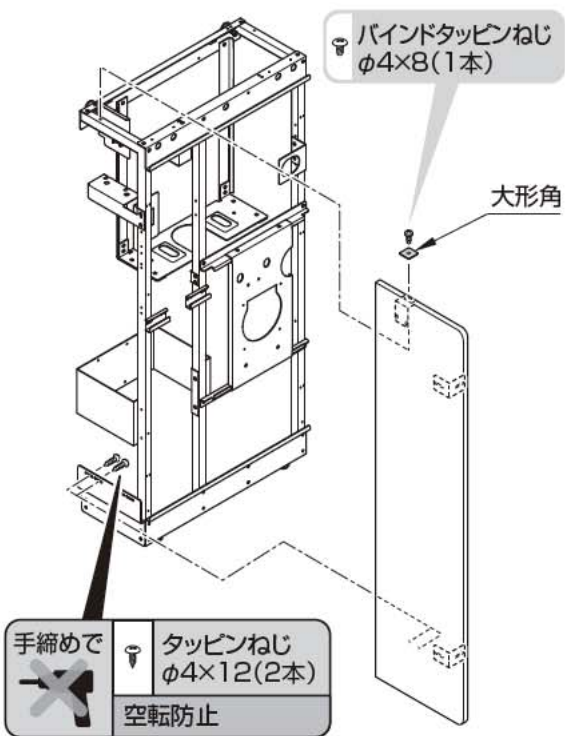
【汚物流し部、幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部がある場合】

※図は汚物流しの場合。

※幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部の場合も同様です。

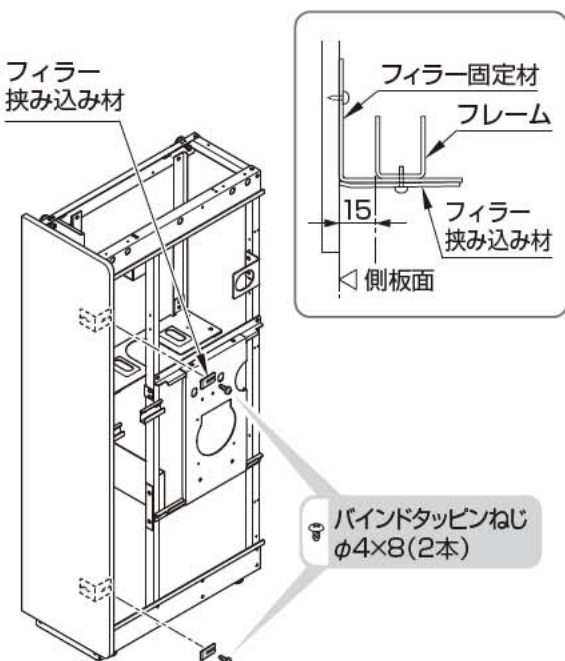
① 側板を側板下部固定材と側板上部固定材にて仮固定

※長穴の中心を目安に手で動かせる程度



② フィラー挟み込み材をフィラー固定材の位置に仮固定する

※側板を動かせる程度



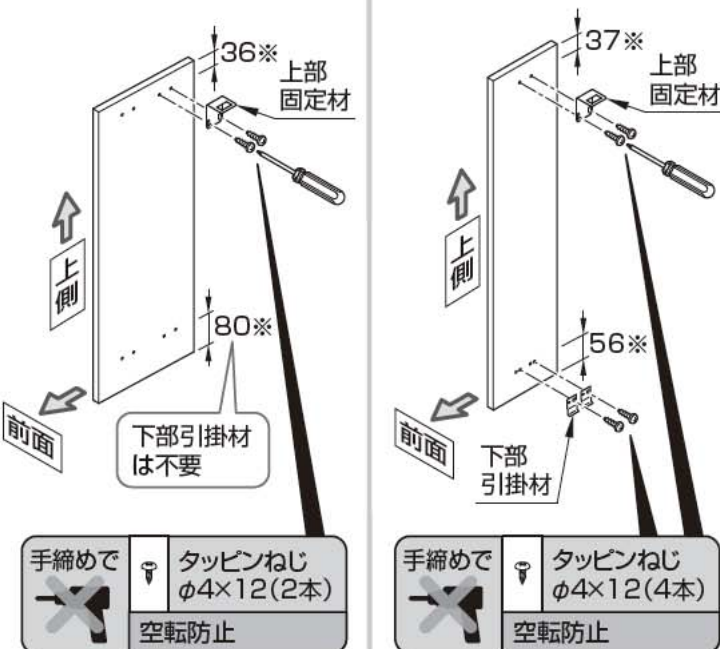
3 側板の準備

大便器部/操作系部/洗面器部

① 上部固定材と下部固定材と下部引掛材を固定

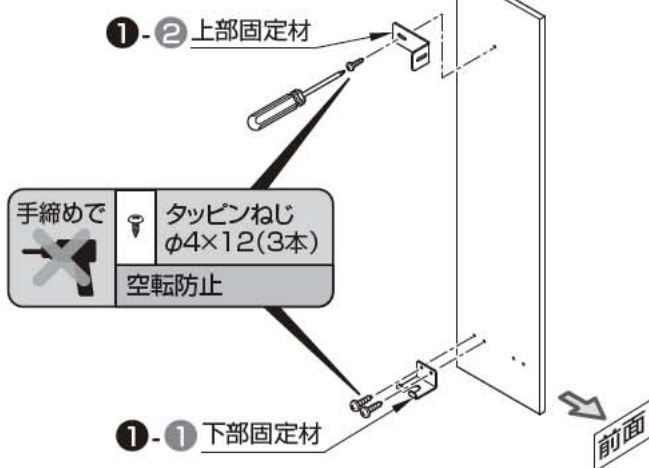
【車いす・オストメイト配慮セット (大便器部) の場合】

【車いす使用者優先配慮セット (大便器部) の場合】

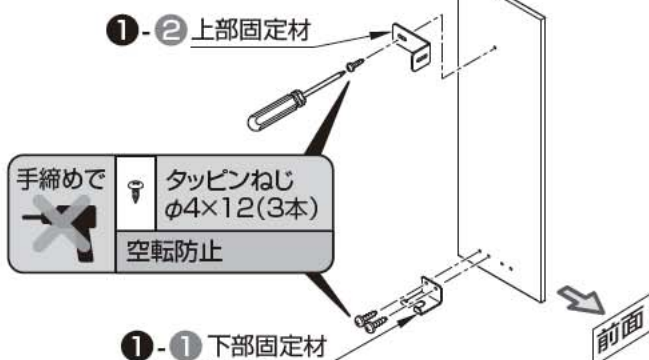


※側板の上下を間違えると甲板の設置ができません。

【操作系部 (洗面器部なしの場合)】

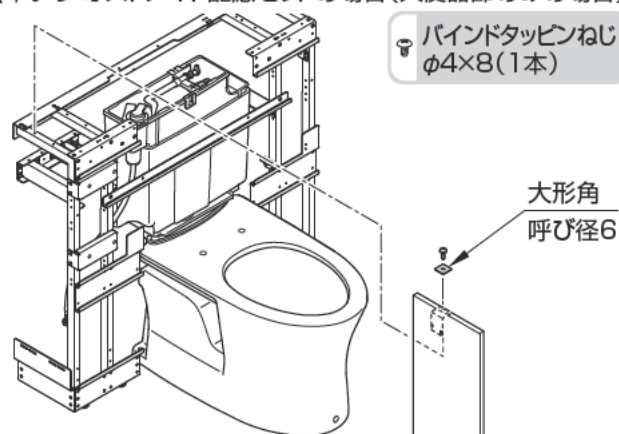


【洗面器部 (洗面器部ありの場合)】

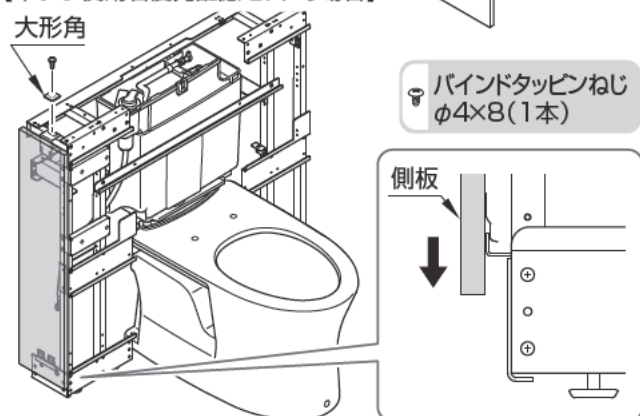


② フレームに側板を落下しない程度に仮固定する

【車いす・オストメイト配慮セットの場合 (大便器部のみの場合)】



【車いす使用者優先配慮セットの場合】



【操作系部 (洗面器部なしの場合)】

手締めで

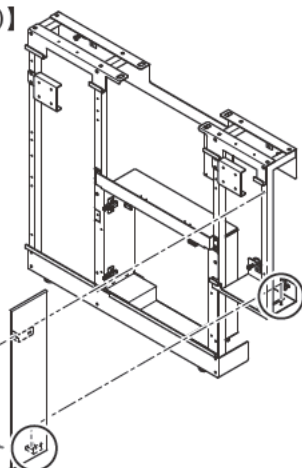


②-①

バインドタッピンねじ φ4×8 (1本)

②-②

ローレットねじで固定



【洗面器部 (洗面器部ありの場合)】

手締めで

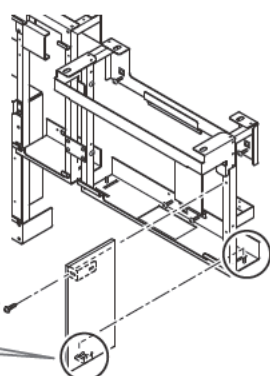


②-①

バインドタッピンねじ φ4×8 (1本)

②-②

ローレットねじで固定



4 側板の本固定

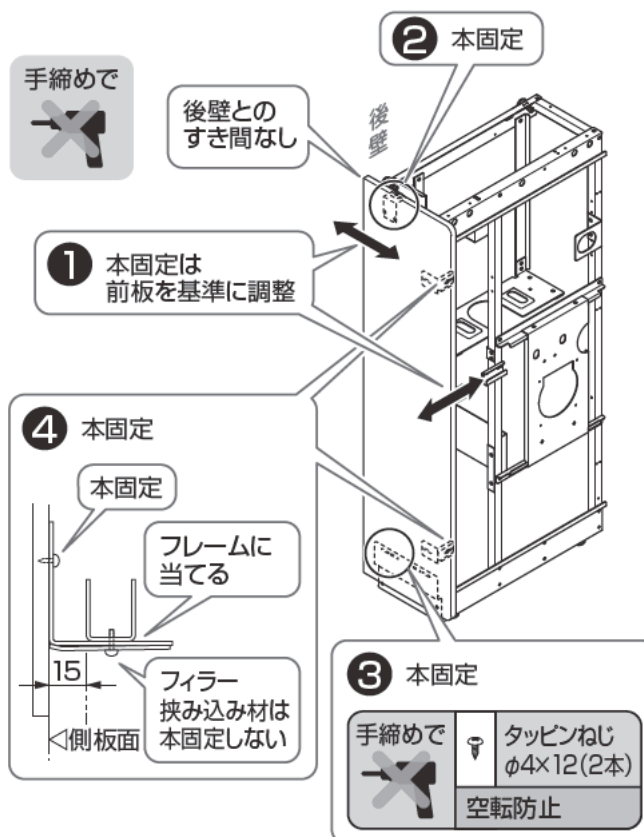
【大便器部のみの場合】

※側板の本固定はP.64「STEP10.側板パネル・前板 (準備)」で行います。

【汚物流し部、幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部がある場合】

※図は汚物流しの場合。

※幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部の場合も同様です。



MEMO

6

ファイラー固定材・側板 (側板がある場合)

STEP7. 汚物流し用排水継手

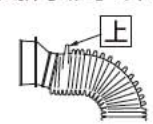
「汚物流しなし」の場合
P.55「STEP8. 止水栓」に進んでください。

 パッキンはSTEP16で使用

▶ 単独排水継手施工説明書参照

1

単独排水継手の向きを確認



幕板

2

バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

単独排水継手
(排水ソケット)

ソケット押え板

3

排水ソケットが幕板とソケット
押え板の中で上下左右に動く
ことを確認

4

内周塗布



外周塗布



ジャバラ部

ホースバンド

5

固定

排水管(現場配管)

注意

!

締め過ぎに注意する

水漏れして建物や設備など
をぬらす財産損害発生の原因となります。

注意

!

必ず守る

・ジャバラ部は必ず排水管に接着する

・ジャバラ部を無理に曲げたり逆勾配にならないよう接続する

MEMO

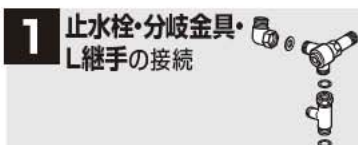
STEP8. 止水栓

【大便器部】と【汚物流し部】で施工方法が異なります。
商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

大便器部

汚物流し部

幼児用小便器部



▶ P.55

▶ P.57



▶ P.58



① 止水栓の接続
▶ P.59

② フレキ管の接続
▶ P.59

大便器部

1 止水栓・分岐金具・L継手の接続

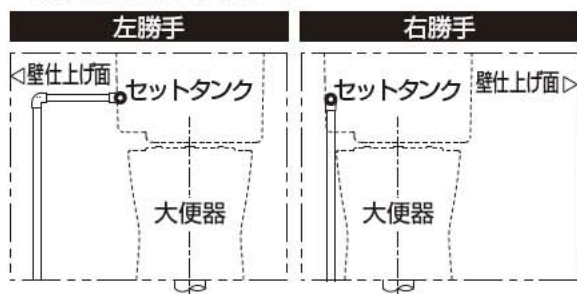
【車いす・オストメイト配慮セット、乳幼児連れ配慮セットの場合】

選択された仕様により取り付ける止水栓・継手が異なります。下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

水道水仕様の場合

ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓あり	ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓なし
↑ パウチしびん洗浄水栓 ウォシュレット ↓ セットタンク	ウォシュレット ↓ セットタンク ※分岐金具はウォシュレットに 同梱

<給水立ち上げ位置>



再生水仕様の場合

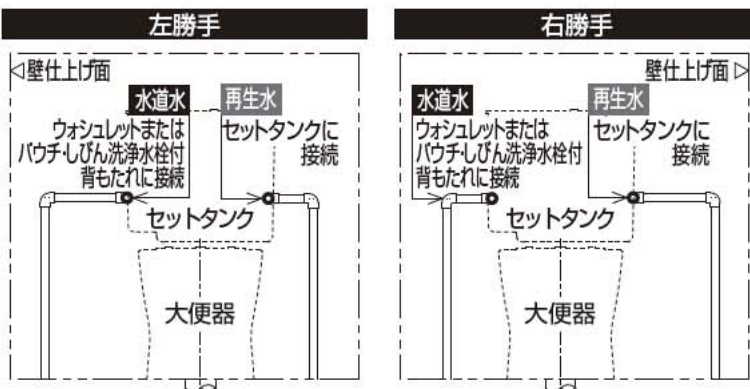
再生水側	水道水側	
	ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓あり	ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓なし
↓ セットタンク	ウォシュレット パウチ・しびん 洗浄水栓	ウォシュレット ふさぎふた

<止水栓位置>

！ 注意



再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えない
よう給水接続をする
故障や皮膚の炎症などをおこす原因となります。



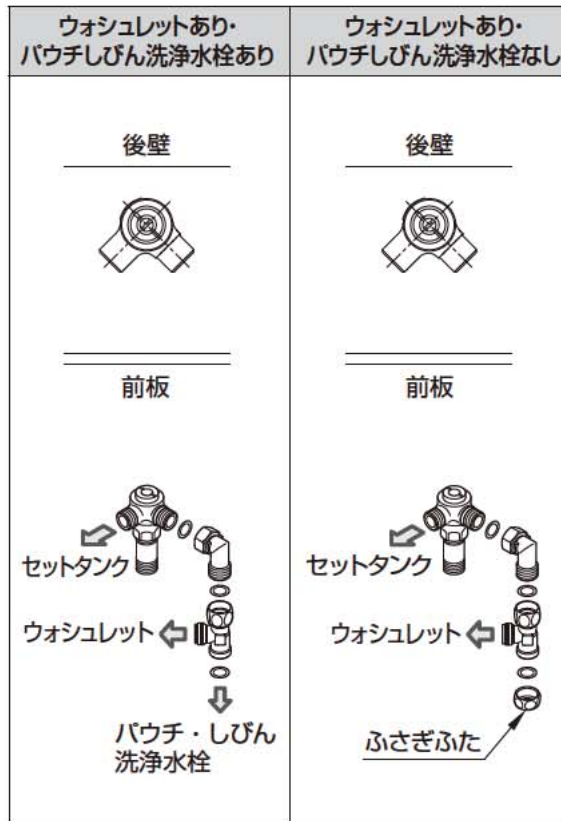
大便器部

【車いす使用者優先配慮セットの場合】

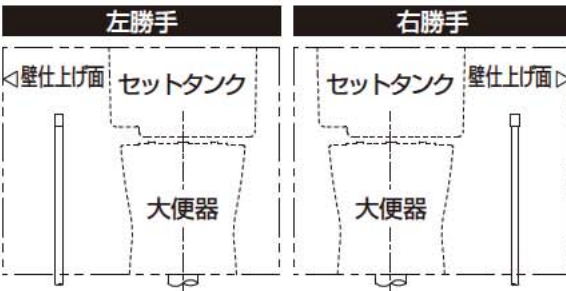
選択された仕様により取り付けの止水栓・継手が異なります。下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

※図は右勝手の場合です。左勝手の場合の接続は左右反転になります。

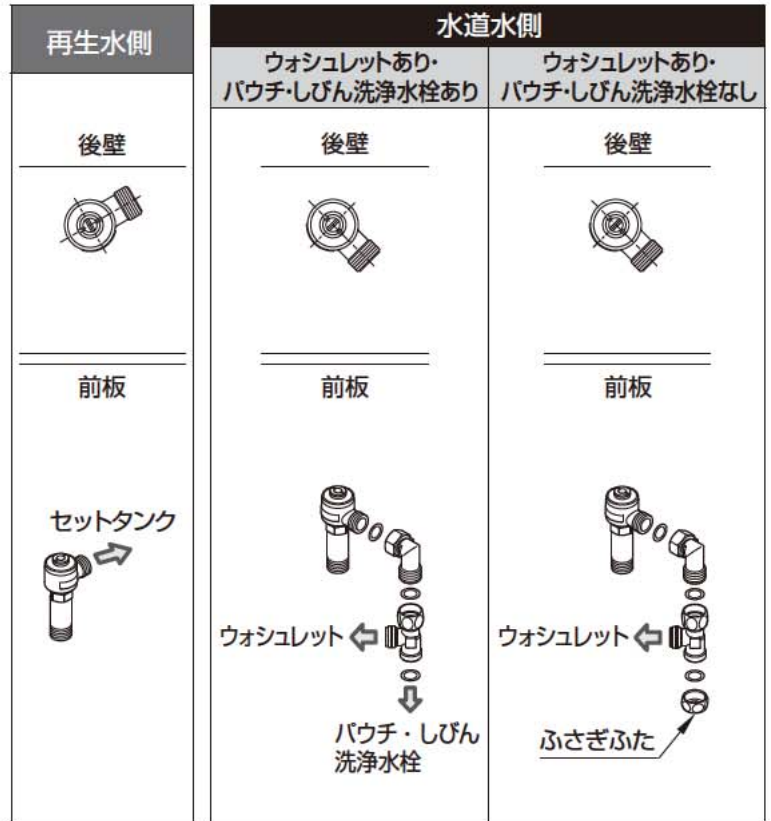
水道水仕様の場合



<給水立ち上げ位置>



再生水仕様の場合



<止水栓位置>

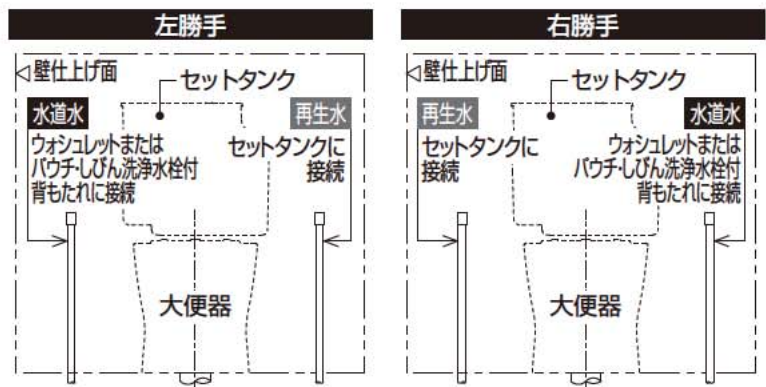
⚠ 注意



必ず守る

再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えない
よう給水接続をする

故障や皮膚の炎症などをおこす原因となります。



汚物流し部 ※大便器部の場合P.60「STEP9.幅木」に進んでください。

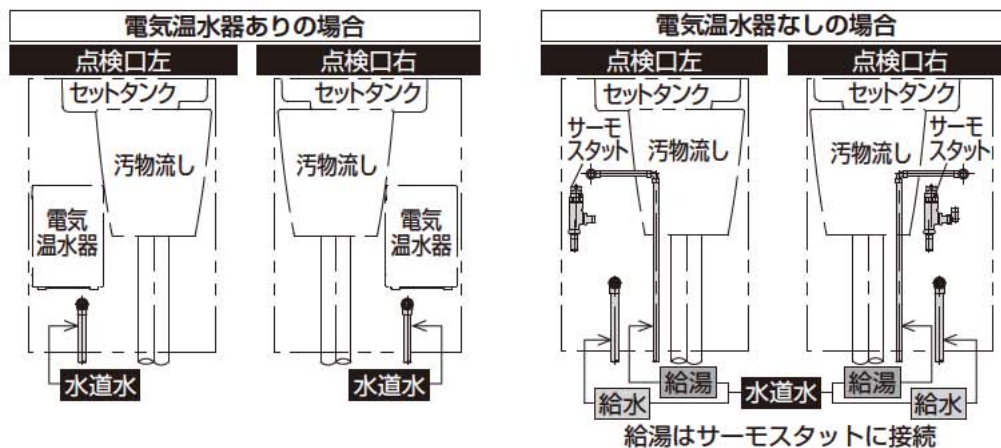
1 止水栓・分岐金具・L継手の接続

選択された仕様により取り付ける止水栓・継手が異なります。
下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

水道水仕様の場合

電気温水器あり・点検口左	電気温水器あり・点検口右	電気温水器なし・点検口左	電気温水器なし・点検口右
セットタンク ↓ 電気温水器	セットタンク ↓ 電気温水器	給湯 給湯 ↓ サーモスタット	給湯 給湯 ↓ サーモスタット ※フレームに付いています

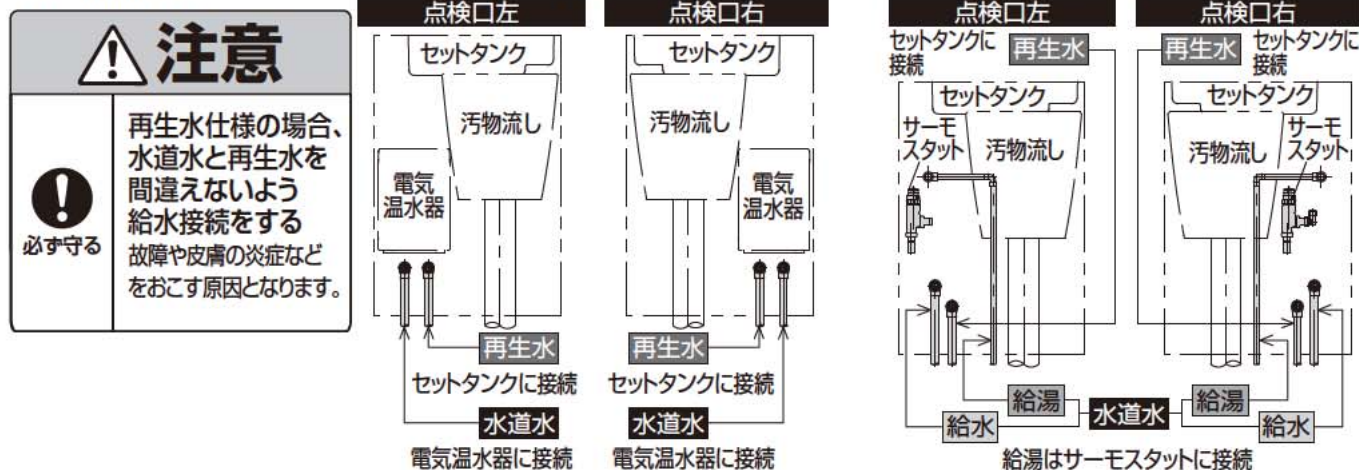
<給水立ち上げ位置>



再生水仕様の場合

再生水側	水道水側		
	電気温水器あり	電気温水器なし・点検口左	電気温水器なし・点検口右
点検口右 点検口左	左右勝手とも下向き 電気温水器	給湯 給湯 ↓ サーモスタット	給湯 給湯 ↓ サーモスタット ※フレームに付いています

<止水栓位置>



注意



必ず守る

再生水仕様の場合、
水道水と再生水を
間違えないよう
給水接続をする
故障や皮膚の炎症など
をおこす原因となります。

汚物流し部

2 サーマスタット・止水栓の接続

下記表を参考に、各止水栓とサーモスタットをフレキホース・フレキ管で接続します。

サーモスタットの接続先	長さ
止水栓(給水管用)フレキホース	約600mm
止水栓(給湯管用)フレキ管	約500mm

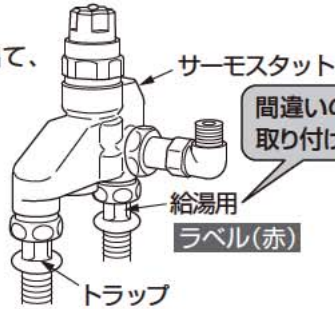
警告



禁止

湯水を逆に接続しない
水を出そうとした際に湯が出て、
やけどの原因となります。

【サーモスタットの取出口】
・奥(壁)側…給湯用
・手前側…給水管



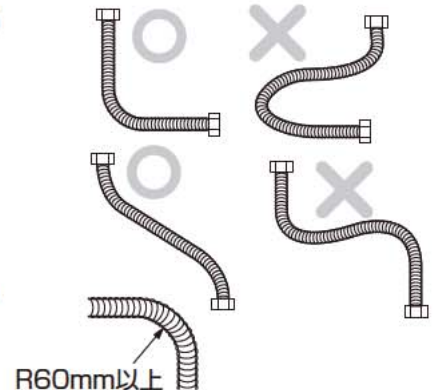
間違いのないように
取り付ける

注意



必ず守る

- ・フレキ管の取り付けは必ず下記の項目にそれぞれ注意して行う
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
- ・フレキ管は、取り付けの前にあらかじめ所定の形に曲げる
フレキ管は小さい角度で曲げないでください。
また、袋ナット付け根部分を曲げないでください。
- ・1～2回程度の曲げで所定の形にする
曲げ作業をくり返すと破損するおそれがあります。
- ・必ず同梱のパッキンを使用する
- ・袋ナットは十分締め付け、取付後、水漏れがないことを確認する
- ・フレキ管は極端に折らず、R60mm以上を確保する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。



R60mm以上

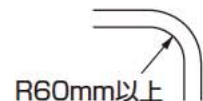
【フレキホース】

注意



必ず守る

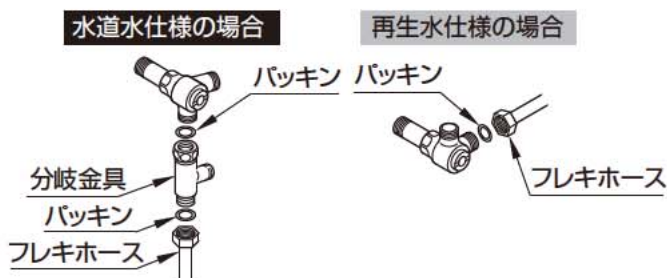
- ・フレキホースの取り付けは必ず下記の項目にそれぞれ注意して行う
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
- ・必ず同梱のパッキンを使用する
- ・袋ナットは十分締め付け、取付後、水漏れがないことを確認する
- ・フレキホースは極端に折らず、R60mm以上を確保する
- ・フレキ管とフレキホースは接触させない
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。



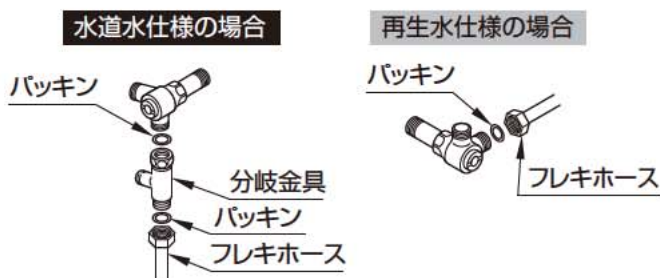
R60mm以上

止水栓(給水管用)は一方の口をサーモスタットと接続し、もう一方の口はシングルレバーと接続します。
下記を参照して、接続する口を間違えないよう取り付けてください。
シングルレバーの給水・給湯ホースの接続 ▶P.85「STEP17.汚物流し用セットタンク 8」参照

点検口左の場合



点検口右の場合



⚠ 注意



禁止

接続する給水口を逆に配管しない

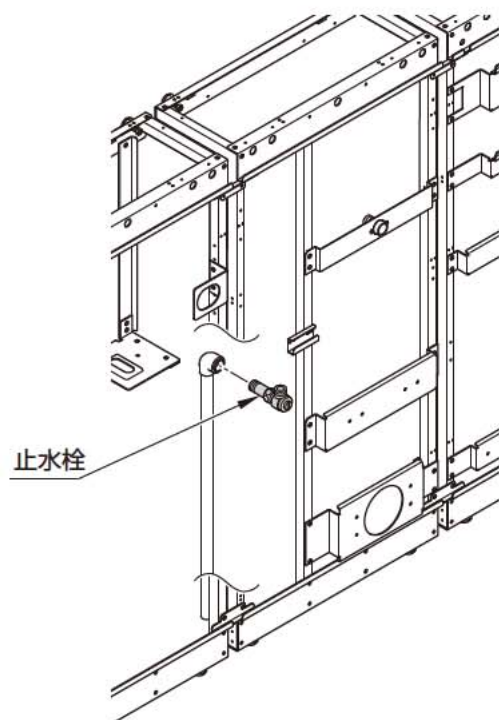
フレキホースに無理な力がかかってキンクの原因となり水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

幼児用小便器部

3 止水栓の接続

※イラストは点検口左の場合ですが、点検口右の場合も同様です。

① 止水栓の接続



② フレキ管の接続

